

# 道路建設事業の再評価項目調書

<b>事業名</b>	一般国道53号 <small>おかやまきた</small> 岡山北バイパス	<b>事業区分</b>	一般国道	<b>事業主体</b>	国土交通省 中国地方整備局
<b>起終点</b>	自： <small>おかやまけんおかやましきたくつしま</small> 岡山県岡山市北区津島 至： <small>おかやまけんおかやましきたくみつなかやま</small> 岡山県岡山市北区御津中山	<b>延長</b>	10.5 km		
<b>事業概要</b>					
<p>一般国道53号は、<small>おかやまし</small> 岡山市から <small>とっとりし</small> 鳥取市に至る延長約150kmの主要幹線道路である。</p> <p><small>おかやまきた</small> 岡山北バイパスは、岡山市中心部と山陽自動車道岡山IC及び岡山空港を結ぶアクセス道路として機能するとともに、地域高規格道路「<small>くこうつやま</small> 空港津山道路」の一部を構成する延長10.5kmの道路である。</p>					
S49年度事業化		S32、S50、H元年度 都市計画決定		S55年度用地着手	
S61年度工事着手					
<b>全体事業費</b>	約590億円	<b>事業進捗率</b>	82%	<b>供用済延長</b>	8.7 km
(H22年度末現在)					
<b>計画交通量</b>	20,700 ~ 51,700 台/日				
<b>費用対効果分析結果</b>	<b>B/C</b> (3便益) (事業全体) 2.5 (残事業) 1.2	<b>総費用</b> (残事業)/(事業全体) 98 / 1,071 億円 事業費 : 75/979億円 維持管理費 : 23/ 92億円	<b>総便益</b> (残事業)/(事業全体) 116 / 2,712 億円 (走行時間短縮便益 : 108/2,549億円) (走行費用減少便益 : 2.3/ 148億円) (交通事故減少便益 : 6.1/ 14億円)	<b>基準年</b> 平成23年	
<b>感度分析の結果</b> 残事業について感度分析を実施					
<p>交通量変動 : B/C= 1.4 (交通量+10%)      B/C=1.1 (交通量-10%)</p> <p>事業費変動 : B/C= 1.1 (事業費+10%)      B/C=1.3 (事業費-10%)</p> <p>事業期間変動 : B/C= 1.1 (事業期間+20%)      B/C=1.2 (事業期間-20%)</p>					
<b>事業の効果等</b>					
<p>①円滑なモビリティの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・損失時間の削減が見込まれる【4,725万人時間/年→4,444万人時間/年(6%削減)】</li> <li>・利便性の向上が期待できるバス路線が存在する【岡山市内-岡山空港・リムジンバス(34本/日)】</li> <li>・市内北部(建部支所)から岡山駅(新幹線駅)へのアクセスが向上 【岡山市北区建部支所～岡山駅:73分⇒70分】</li> <li>・岡山市から岡山空港(第三種空港)へのアクセスが向上【岡山市役所～岡山空港:48分⇒47分】</li> </ul> <p>②物流効率化の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内北部(建部支所)から岡山港(重要港湾)へのアクセスが向上 【岡山市北区建部支所～岡山港:99分⇒96分】</li> <li>・岡山市(旧御津町・旧建部町)の農林水産品の利便性向上が見込まれる</li> </ul> <p>③国土・地域ネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡【岡山市～津山市:131分⇒128分】</li> <li>・日常活動圏の中心都市へのアクセスが向上【岡山市北区建部支所～岡山市:76分⇒73分】</li> </ul> <p>④個性ある地域の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・後楽園(H21年間観光入込み客数74万人)へのアクセスが向上</li> </ul> <p>⑤災害への備え</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岡山県の第1次緊急輸送道路に指定(国道53号)</li> <li>・緊急輸送道路である国道53号が通行止めになった場合の代替路線を形成する。</li> </ul> <p>⑥地球環境の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・CO2排出削減量が約15千t/年【2,143千t/年→2,128千t/年】</li> </ul> <p>⑦生活環境の改善・保全</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NOx排出量が約58t/年(約0.7%)削減【8,761t/年→8,703t/年】</li> <li>・SPM排出量が約5t/年(約0.7%)削減【768t/年→763t/年】</li> </ul> <p>⑧環境への影響を考慮した結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・約15千t/年のCO2削減量の貨幣換算値【5.4億円※】</li> </ul> <p>※ 供用後50年間の便益額として試算した値(参考値)</p>					

関係する地方公共団体等の意見

岡山北バイパスの整備により、国道53号の交通円滑化が図られるとともに、市民生活の快適化と沿道の活性化が期待されることから、岡山市をはじめとする2市5町から構成される空港津山道路整備促進協議会などより早期整備の要望を受けている。

岡山市長の意見：

異議ありません。

なお、広域的な交流や渋滞緩和を図るための重要な道路であり、引き続き整備の促進をお願いします。

特に、一般国道53号岡山北バイパスにおいては、津高大橋の4車線化について、事業促進による早期供用を要望します。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

沿線部では、商業施設等も立地し市街化が進み沿道地区人口も増加している。

周辺地域の自動車交通の増加(山陽自動車道岡山ICや岡山空港利用等による)に伴い、津高地区では交通渋滞が発生している。

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成22年度末で用地買収は、94%完了し、現在までに岡山市北区津島～岡山市北区吉宗までの8.7kmが暫定供用済みである。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

投資効果の早期発現を図るため段階的に整備しており、平成24年度に津高大橋付近の4車線化を予定している。

施設の構造や工法の変更等

機能分離型支承の採用により、コスト削減を図っている。【0.1億円の減少】

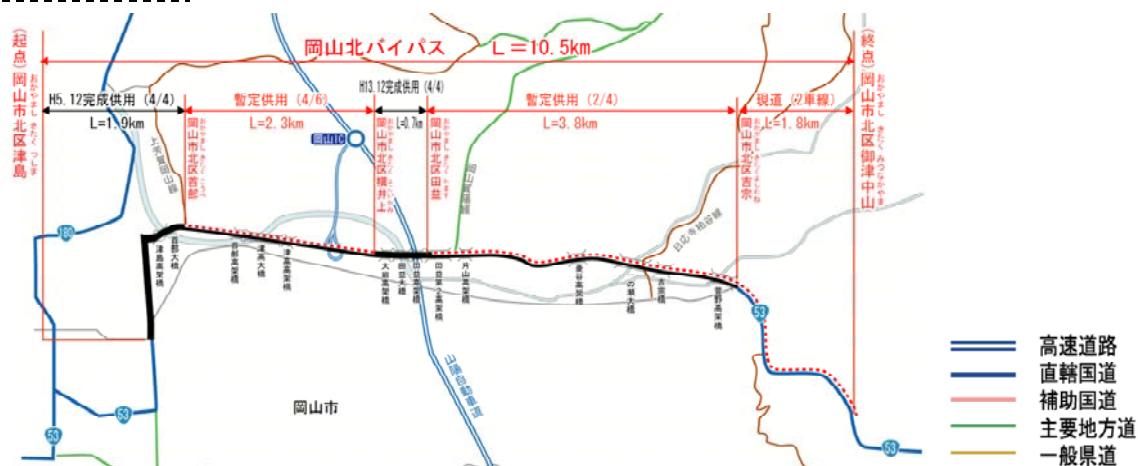
対応方針(原案)

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

お か や ま き た

# 一般国道53号 岡山北バイパス

## 事業再評価

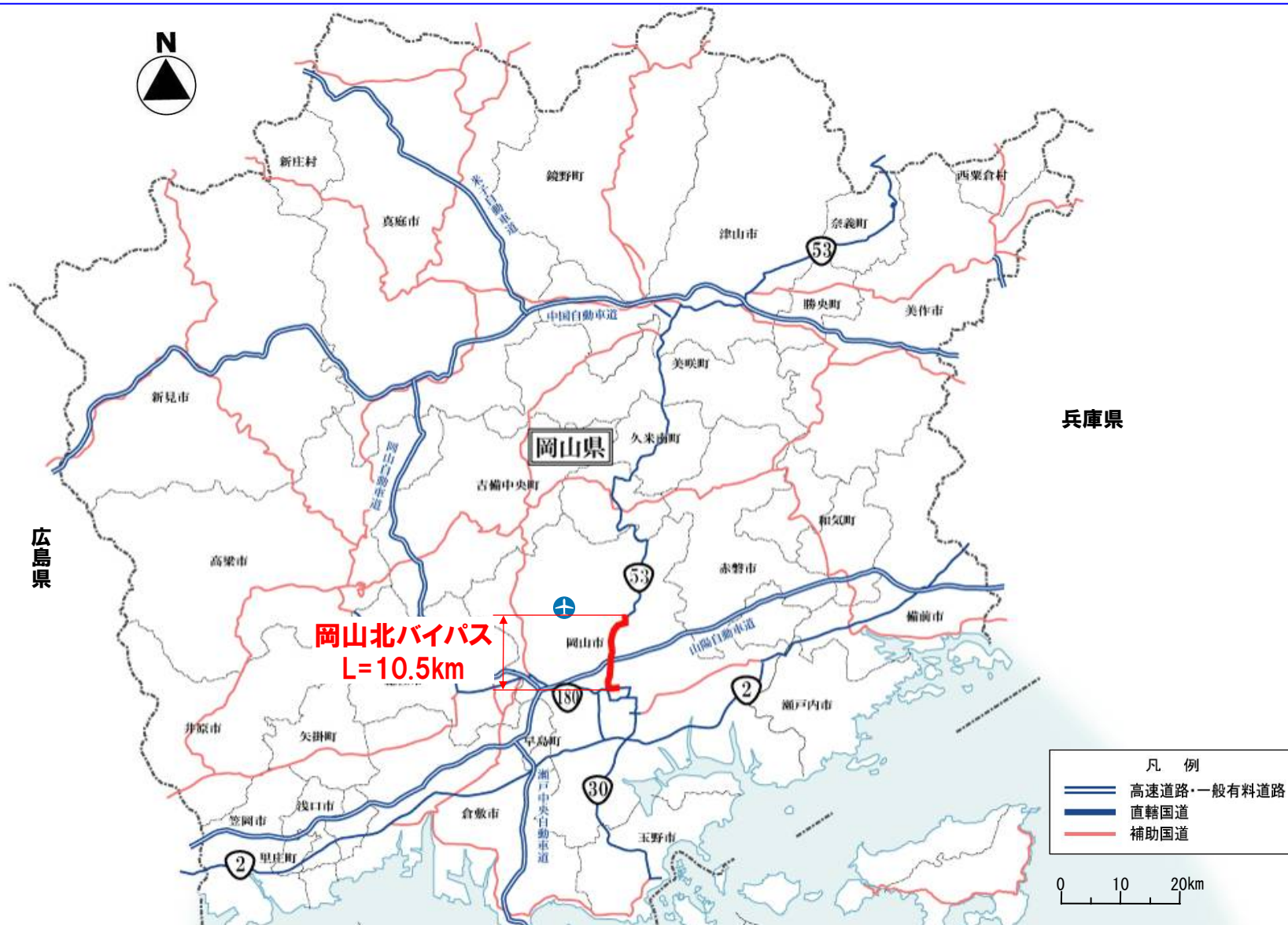
平成23年8月

国土交通省 中国地方整備局

# 1. 位置図

一般国道53号 岡山北バイパス

- 一般国道53号は、おかやまし岡山市からとっとりし鳥取市に至る延長約150kmの主要幹線道路である。
- 岡山北バイパスは、おかやましきたくつしま岡山市北区津島～おかやましきたくみつなかやま岡山市北区御津中山に至る延長10.5kmのバイパスである。



# 2. 事業概要及び経緯

## (1) 事業概要

岡山北バイパスは、岡山市中心部と山陽自動車道岡山I.C.及び岡山空港を結ぶアクセス道路として周辺地域の連携強化や国道53号の交通混雑の緩和及び安全性・沿道環境の改善を目的としている。



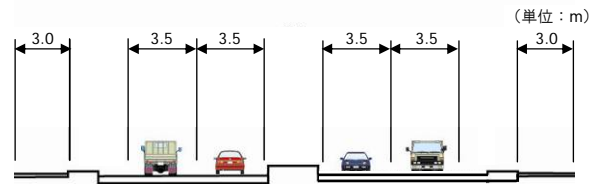
▼地域高規格道路 空港津山道路 位置図



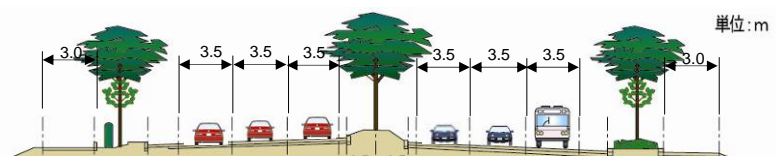
起 終 点	起点：岡山県岡山市北区津島 おかもやけんおかやましきたくつしま 終点：岡山県岡山市北区御津中山 おかもやけんおかやましきたくみつなかやま
計画延長	L=10.5km
道路規格	第4種第1級 第3種第2級
設計速度	60km/h
車 線 数	4車線、6車線

### 標準断面図

●4車線完成断面



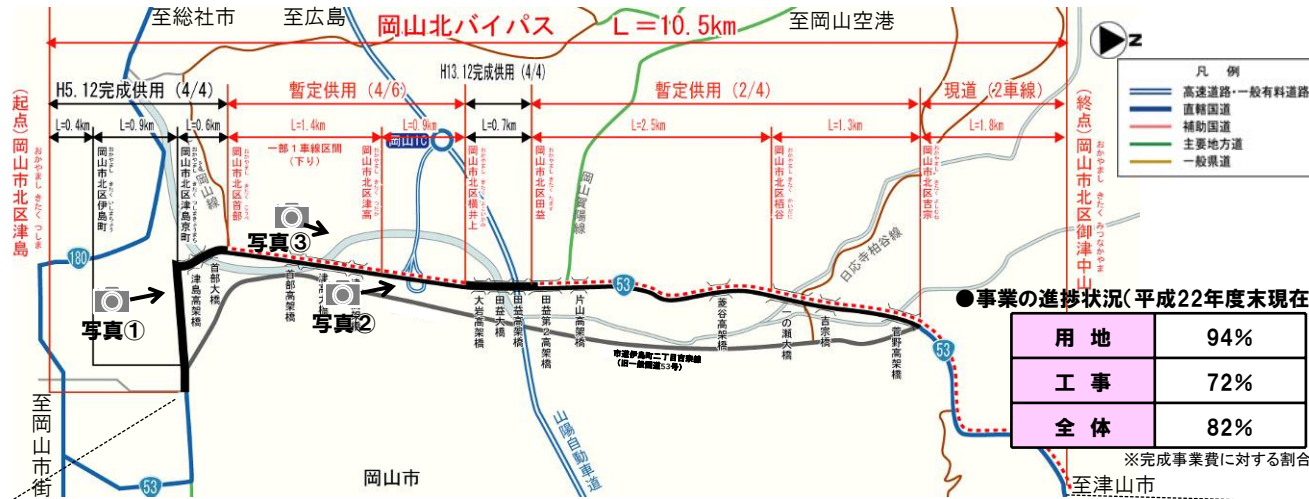
●6車線完成断面



# 2. 事業概要及び経緯

## (2) 事業経緯と進捗状況

・昭和49・62年度に事業着手し、平成10年度までに岡山市北区津島～北区吉宗間を段階的に全線供用。



●事業の進捗状況(平成22年度末現在)

用地	94%
工事	72%
全体	82%

※完成事業費に対する割合



写真①岡山市津島上空から津山市方面を望む



写真②岡山市津高上空から津山市方面を望む



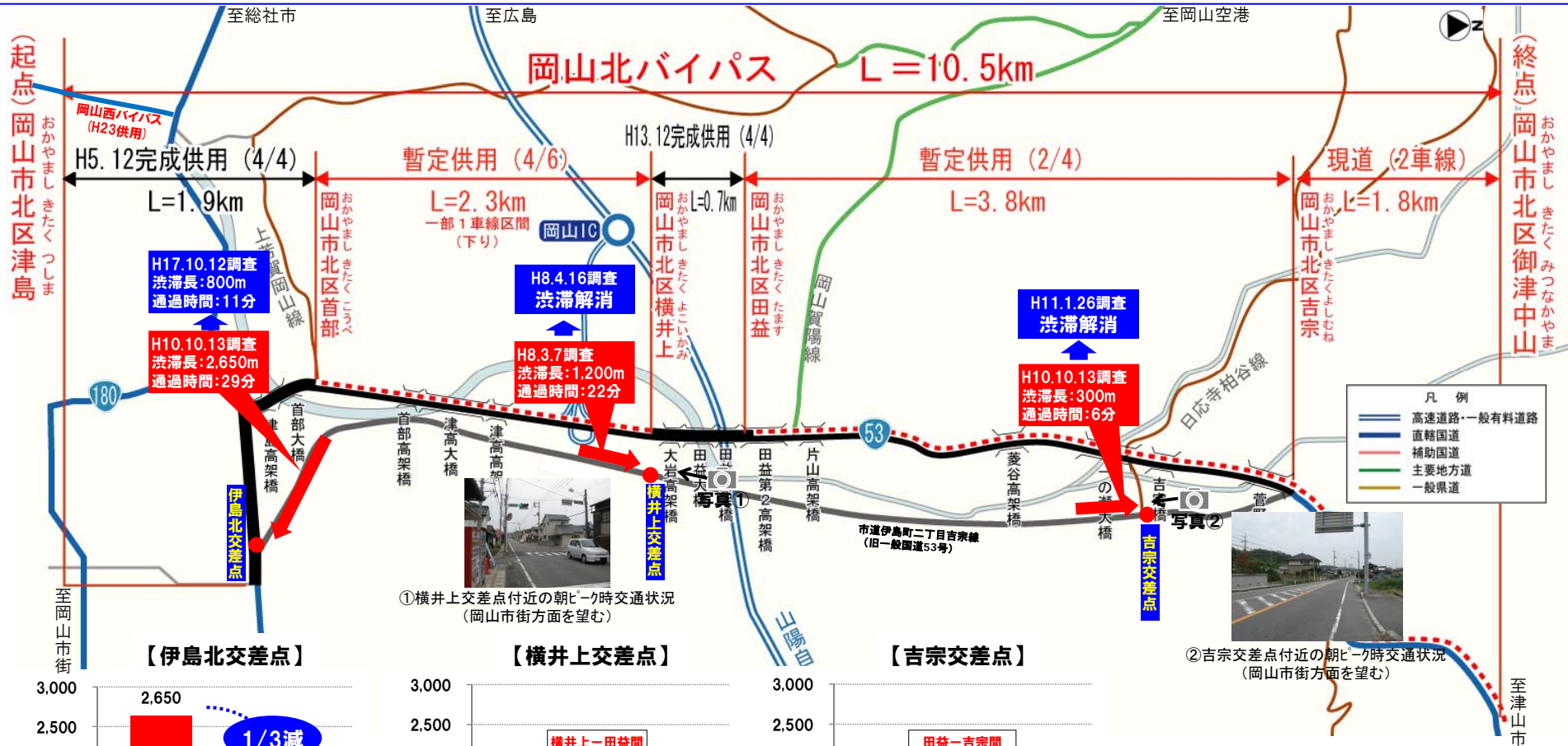
写真③津高大橋の工事進捗状況

事業経緯	岡山市北区津島 ～北区伊島町	岡山市北区伊島町 ～北区津島京町	岡山市北区津島京町 ～北区首節	岡山市北区首節 ～北区津高	岡山市北区津高 ～北区横井上	岡山市北区横井上 ～北区田益	岡山市北区田益 ～北区栢谷	岡山市北区栢谷 ～北区吉宗	岡山市北区吉宗 ～北区御津中山
	昭和32年度	都市計画決定(S33.3)							
昭和49年度	事業着手								
昭和50年度	都市計画決定(S50.9)								
昭和55年度	用地着手								
昭和58年度	用地着手								
昭和61年度	工事着手								
昭和62年度	(S63.3 2/6車供用)								
昭和63年度	工事着手								
平成元年度	都市計画決定(H2.1)								
平成2年度	(H3.3 4/4車供用)		(H3.3 2/4車供用)						
平成4年度	(H5.3 4/6車供用)								
平成5年度	(H5.12 4/4車供用)								
平成7年度	(H8.3 2/4車供用)								
平成10年度	(H10.10 2/4車供用)								
平成13年度	H13.7 4/4車供用: 津島京町～首節 4/6車供用: 首節～津高				H13.12 4/4車供用				
平成15年度	中国地方整備局事業評価監視委員会にて、再評価を実施								
平成20年度	中国地方整備局事業評価監視委員会にて、再評価を実施								
平成21年度	工事着手(津高地区)								

# 3. これまでの供用による効果

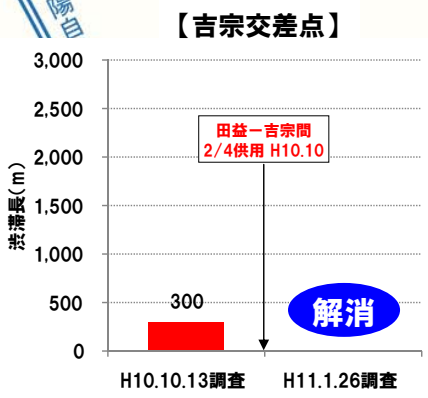
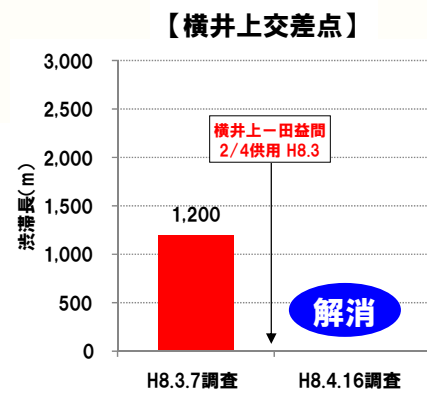
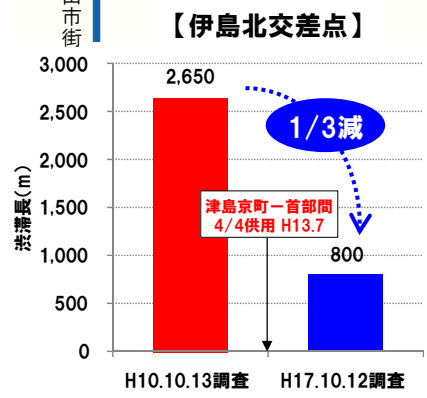
## (1) 旧道からの交通の転換

- ・これまでの整備により、旧道側の交通負荷を軽減し、生活道路での渋滞緩和による環境改善が図られた。
- ・旧道の横井上付近では、民家が連担する2車線の生活道路であり、通過交通の排除が重要な課題であった。



①横井上交差点付近の朝ピーク時交通状況 (岡山市街方面を望む)

②吉宗交差点付近の朝ピーク時交通状況 (岡山市街方面を望む)



# 4. 地域から期待される道路の役割(効果)

一般国道53号 岡山北バイパス



**課題①: 国道53号で発生する交通混雑**

<期待される道路の役割(効果)> ⇒ 損失時間の削減

**課題②: 国道53号の交通事故**

<期待される道路の役割(効果)> ⇒ 交通事故件数の削減

**課題③: 物流・地域ネットワークの形成**

<期待される道路の役割(効果)> ⇒ 混雑緩和による通勤通学の利便性向上  
⇒ 重要港湾へのアクセス向上

**課題④: 円滑なモビリティの確保(交通拠点間のアクセス連携強化)**

<期待される道路の役割(効果)> ⇒ 高速ネットワークへのアクセス向上  
⇒ 空港へのアクセス向上

**課題⑤: 地域振興の支援(産業振興)**

<期待される道路の役割(効果)> ⇒ 沿線地域の活性化

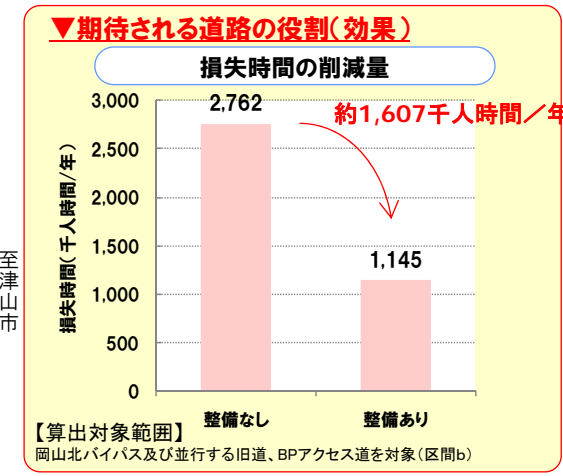
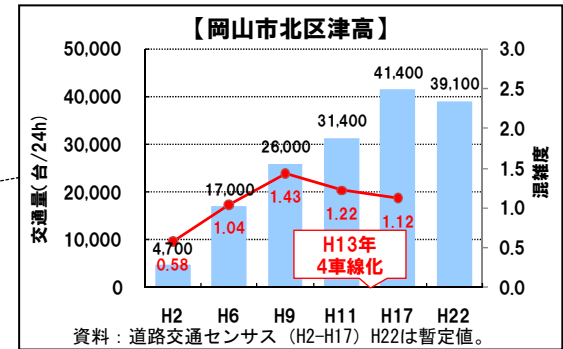


# 4. 地域から期待される道路の役割(効果)

一般国道53号 岡山北バイパス

## 課題① 国道53号で発生する交通混雑

- ・市内中心部の出入口となる路線であり、交通量は増加傾向にある。
- ・津高大橋付近(下り方向)は、一部2車線から1車線への減少区間があり、渋滞が最大約1.1km発生している。



### 津高大橋前後(下り側)の車線減少区間における渋滞の発生

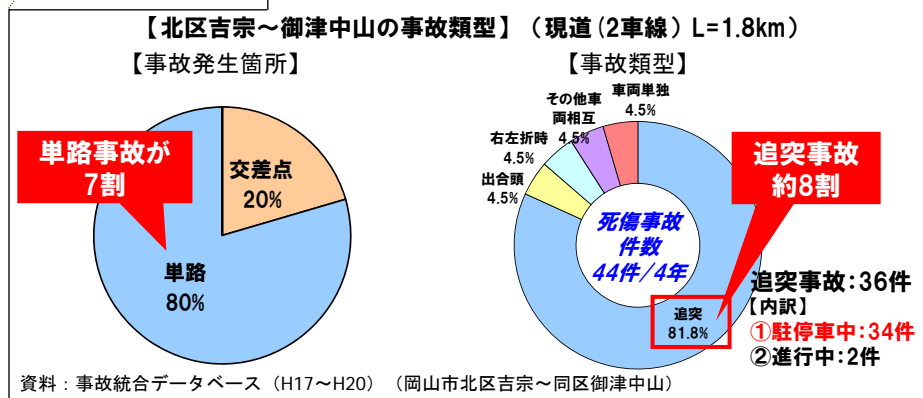
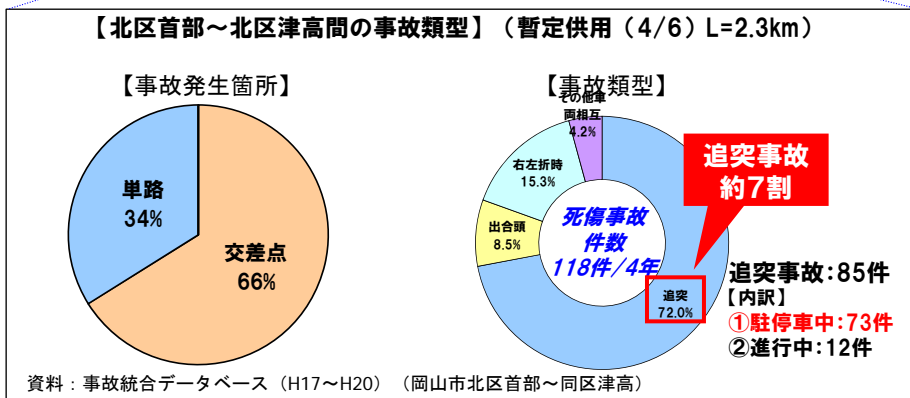
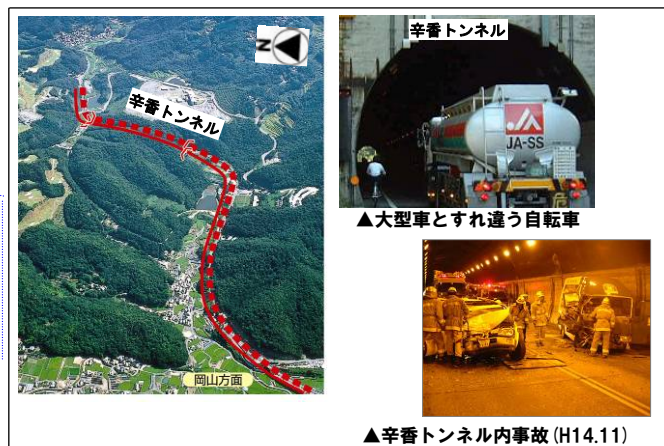
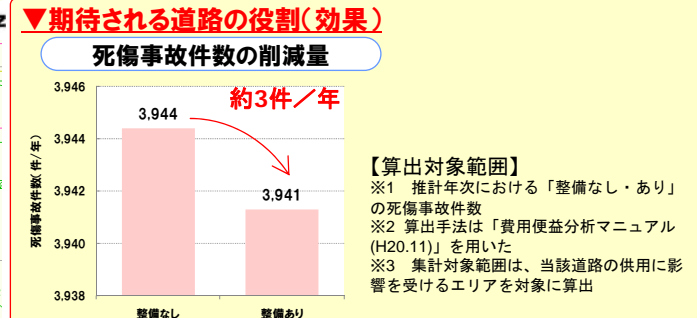
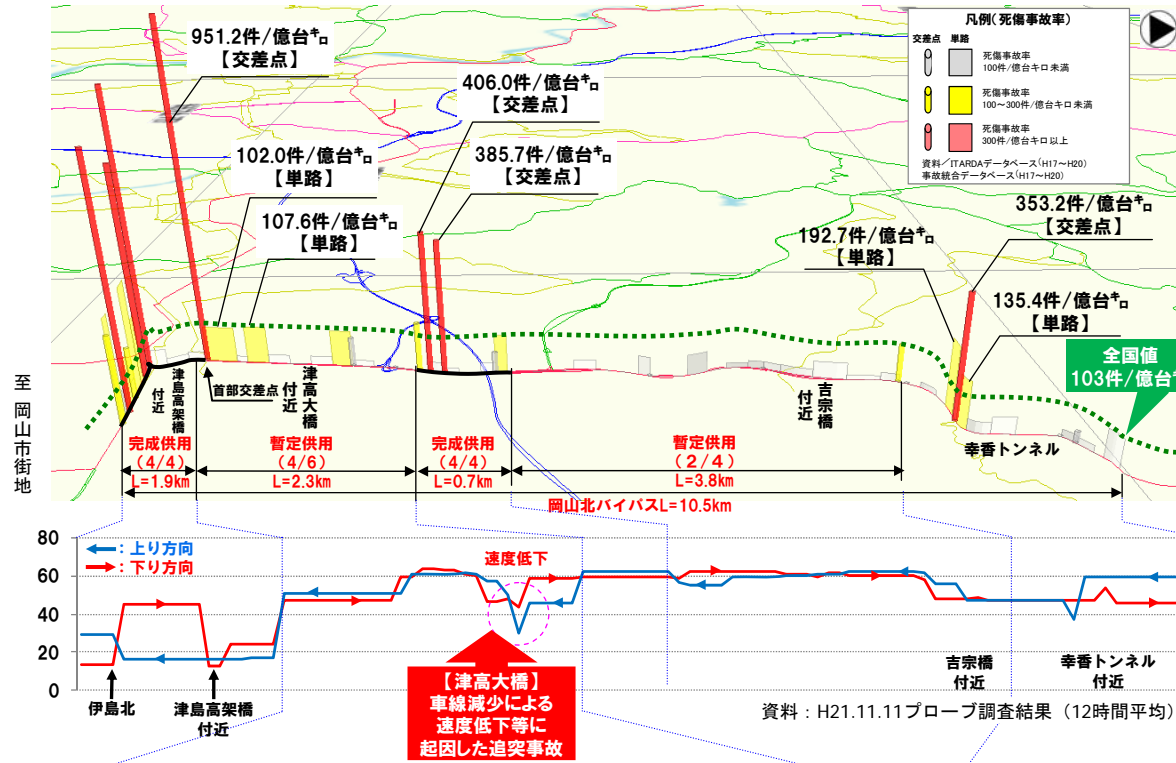


# 4. 地域から期待される道路の役割(効果)

一般国道53号 岡山北バイパス

## 課題② 国道53号の交通事故

- 死傷事故率は、**首部交差点**など交差点での事故が高い傾向にある。
- 事故の特性は、**駐停車車両への追突事故の割合が高く、速度変化や渋滞に起因した事故が多発していると考えられる。**

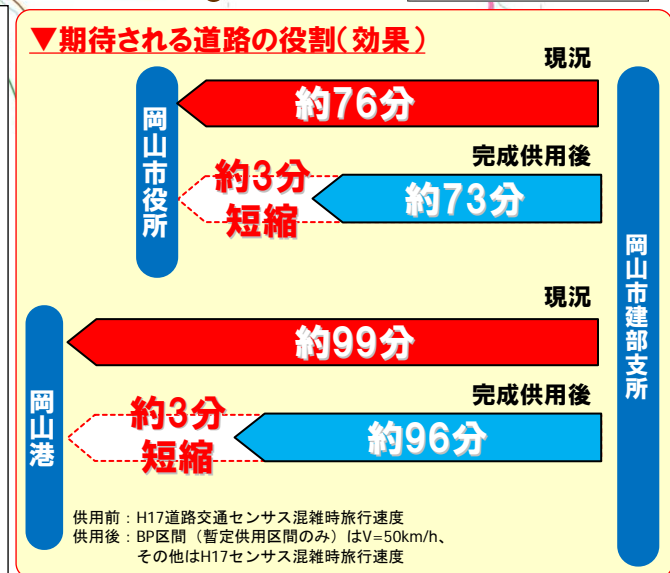
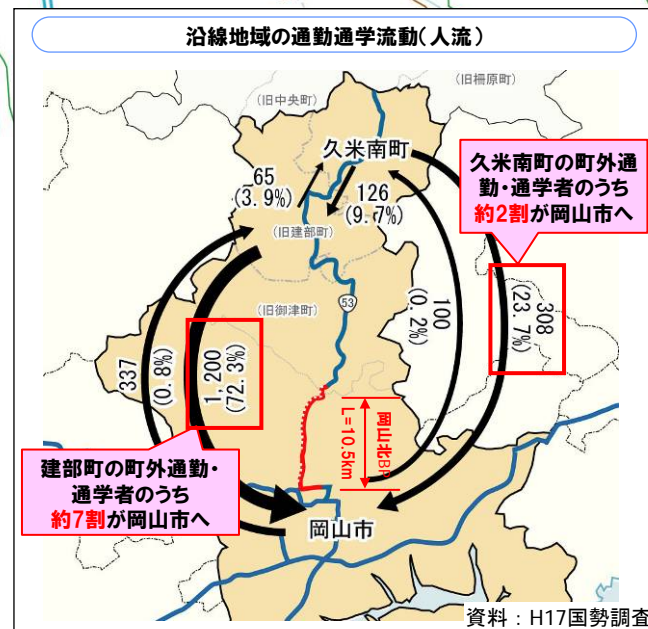
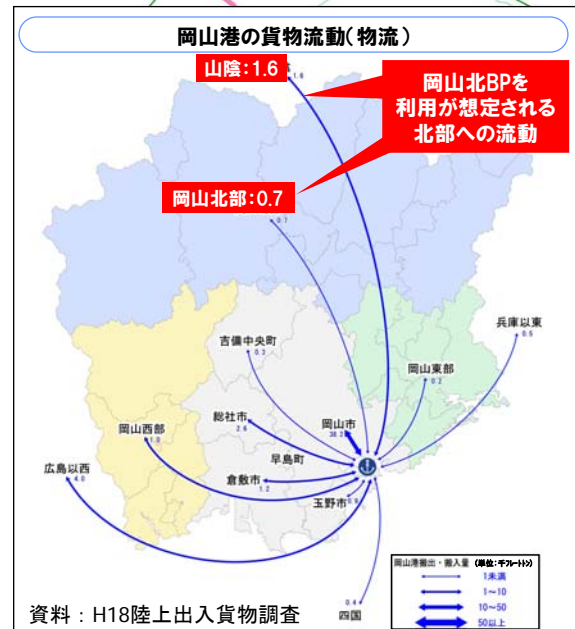
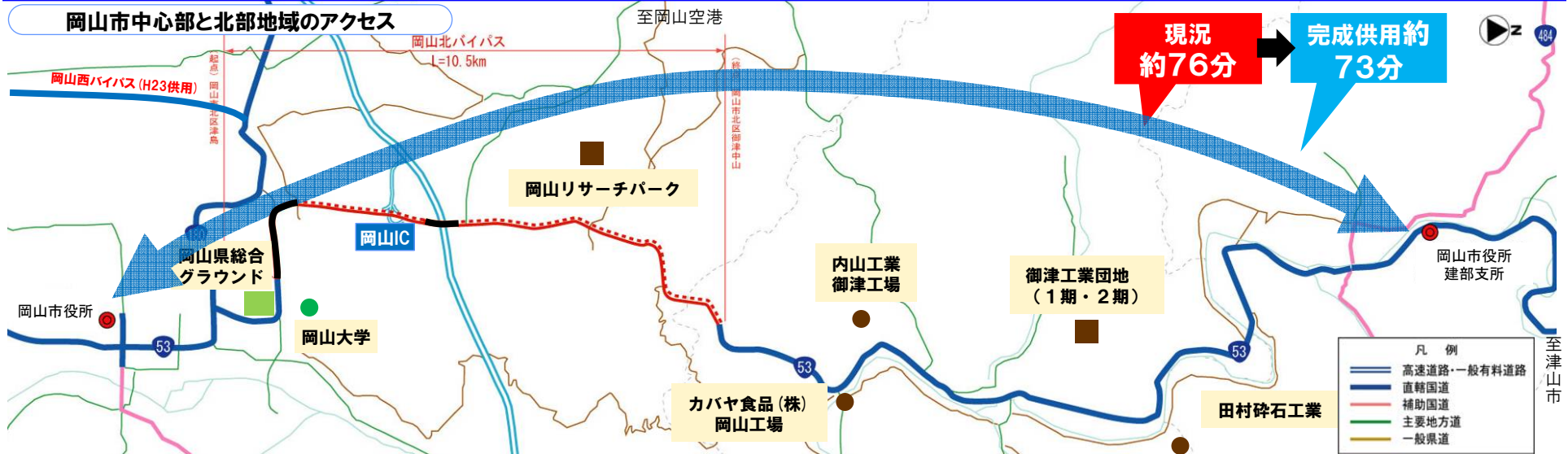


# 4. 地域から期待される道路の役割(効果)

一般国道53号 岡山北バイパス

## 課題③ 物流・地域ネットワークの形成

- ・岡山市北部地域の国道53号沿線には、工業団地や多くの工場が立地している。
- ・また、通勤・通学においても市内中心部と北部地域の結びつきは強く、日常生活における国道53号の役割は大きい。

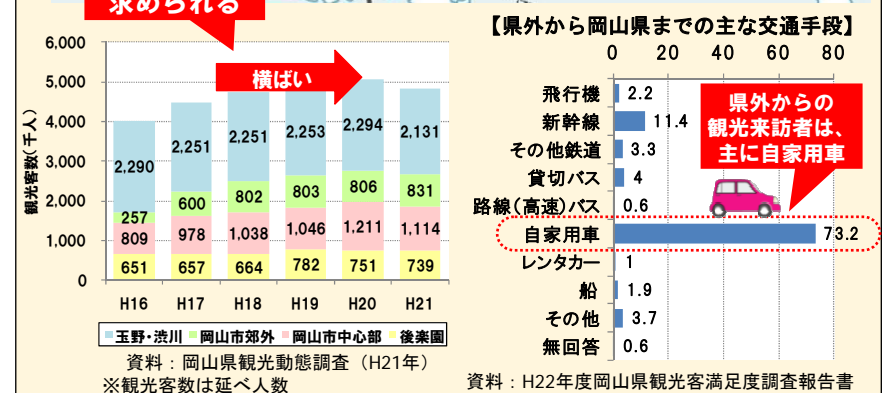
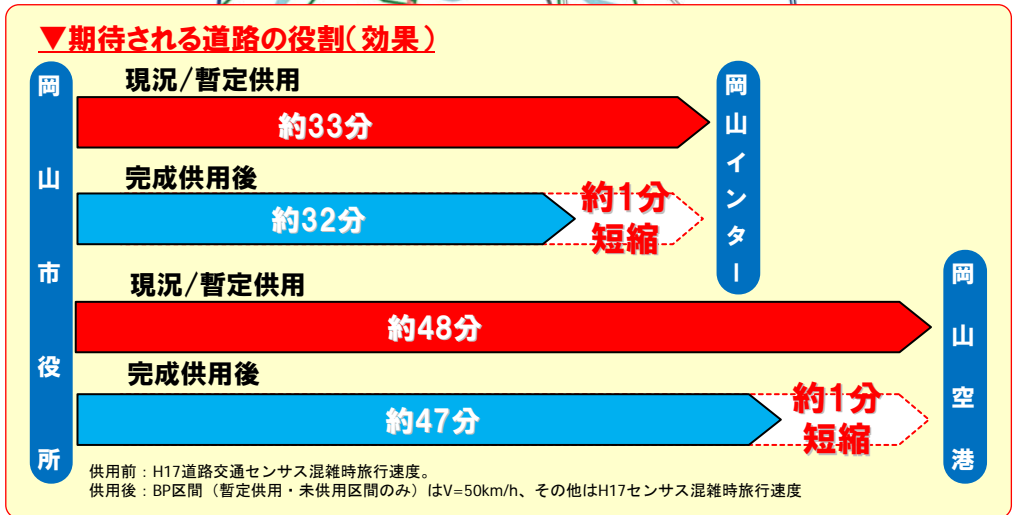
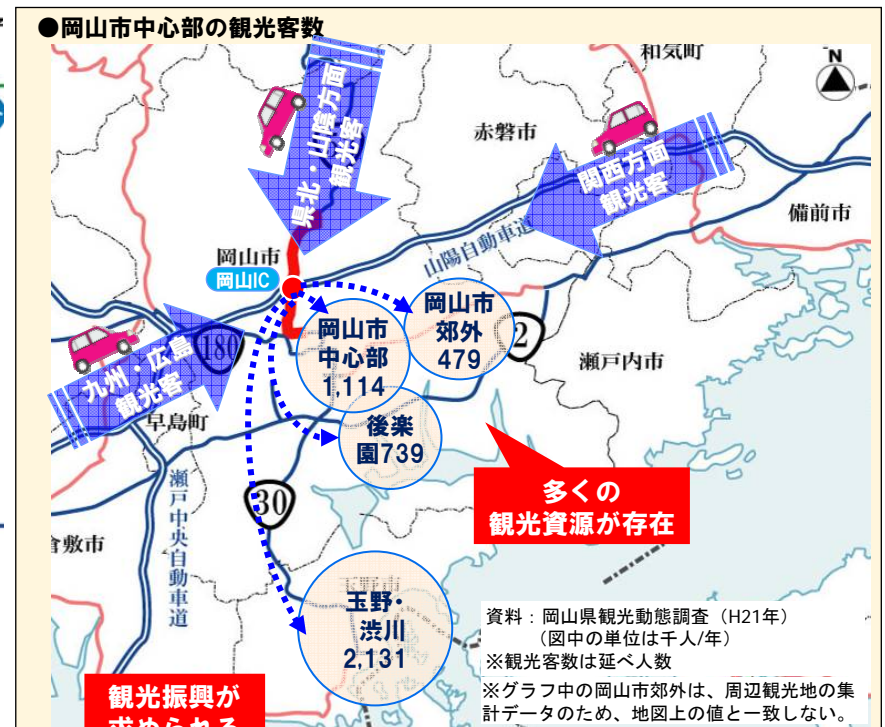


# 4. 地域から期待される道路の役割(効果)

一般国道53号 岡山北バイパス

## 課題④ 円滑なモビリティの確保(交通拠点間アクセス強化)

- ・岡山北バイパスは、岡山市中心部と岡山IC・岡山空港を結ぶ重要路線であり、交通拠点間の円滑な移動支援を担う。また、岡山空港へのリムジンバスが運行されている路線でもある。
- ・さらに、岡山ICに接続し岡山市の玄関口として岡山市内方面への観光アクセス向上により観光活性化が期待される。



# 4. 地域から期待される道路の役割(効果)

一般国道53号 岡山北バイパス

## 課題⑤ 地域振興の支援(産業振興)

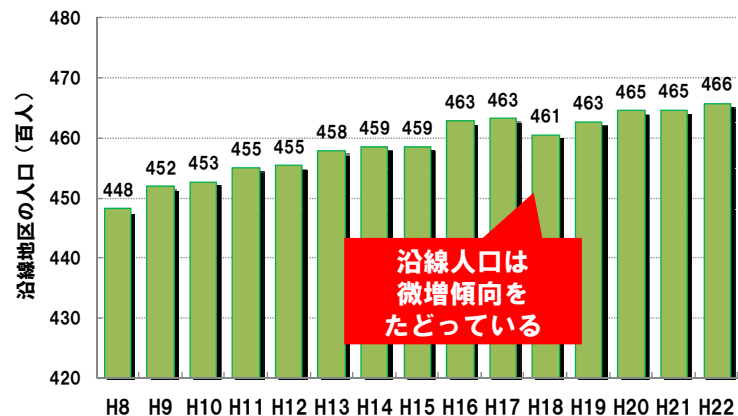
おかやまきた

・岡山北バイパスの沿線地域は、商業施設の立地など市街化が進んでおり、さらなる商業活性化に向けた円滑な交通を支援。

### ●沿線地域の市街化・商業活性化

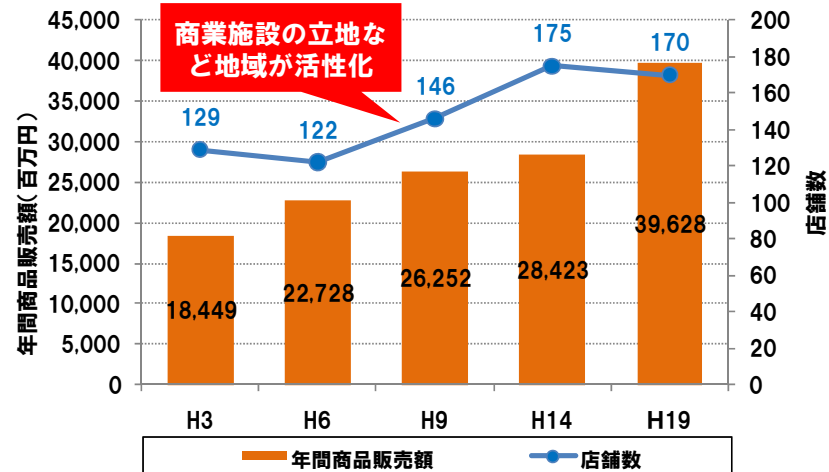


### 沿線地区の人口推移



資料：小学校区・町別住民基本台帳人口（沿線地区＝平津、横井、野谷、津島、伊島学区）

### 沿線地区の年間商品販売額・店舗数数の推移

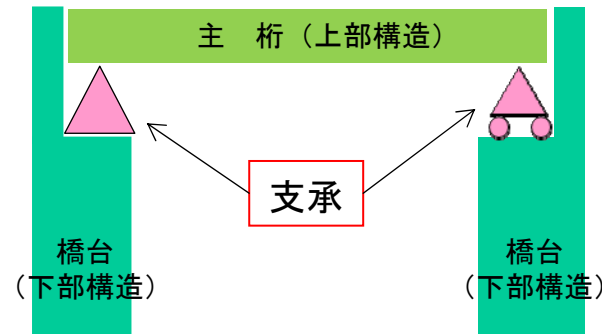


資料/商業統計（対象エリア＝平津、横井、野谷学区）

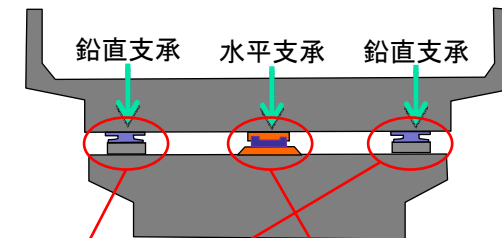
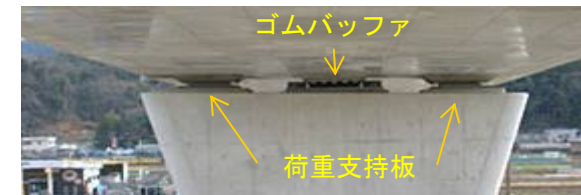
・機能分離型支承を採用するなど、新工法の導入等によりコスト縮減を図っている。

## 機能分離型支承の採用

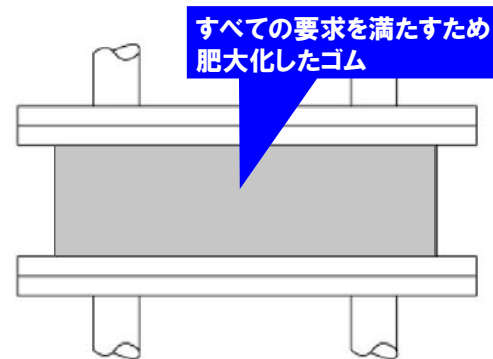
○支承とは？



● 温度変化の影響による上部構造の伸縮を吸収すると共に、構造物をしっかりと支えながら、地震時にはその揺れを構造物に伝えないようにする役割。



### 【従来型ゴム支承】



- 必要な2つの機能(常時機能と地震時機能)を1つのゴムで分担
- 機能を満たすため、支承が肥大化し、コスト高

### 【機能分離型支承】

- 機能を分割することで、部材はコンパクトになり支承コストを低減
- 支承が小型の部材となって、施工性も向上
- 支承が劣化し、機能を損失した場合、この損失した部分だけの交換が可能となり、ライフサイクルコストが低減

約1,000万円のコスト縮減

HiPS荷重支持板

- ・荷重支持機能
- ・水平移動機能
- ・回転機能



常時機能のための部材は必要最小限の大きさ



地震時のみの機能のためゴムは必要最小限の大きさ



# 5. 事業の効果

・地域からの要望等を踏まえ、道路の役割については、従来の3便益に加えて、「地域から期待される道路の役割」等を整理。

## ▶ 3便益による費用便益比

(億円)

項目	全体事業	残事業
<b>費用 (C)</b>	1,070	98
<b>事業費</b>	979	75
<b>維持管理費</b>	92	23
<b>便益額 (B)</b>	2,712	116
<b>走行時間短縮便益</b>	2,549	108
<b>走行経費減少便益</b>	148	2.3
<b>交通事故減少便益</b>	14	6.1
<b>費用便益比</b>	<b>2.5</b>	<b>1.2</b>

便益計測対象項目	内容
走行時間短縮便益	道路整備により、周辺道路も含めた走行時間が短縮される効果を貨幣価値として計測する。
走行経費減少便益	道路整備によって混雑の緩和等走行条件が改善されることによる走行するために必要な費用の減少量として計測する。走行経費には燃料費、オイル費、タイヤ・チューブ費、車両費、車両償却費等が含まれる。
交通事故減少便益	道路整備によって周辺道路の交通量が減少することに伴う交通事故による社会的損失の減少を貨幣価値として計測する。交通事故の社会的な損失には運転者、同乗者、歩行者に関する人的損害額、交通事故により損壊を受ける車両や構造物に関する物的損害額、交通渋滞による損失額が含まれる。

## ▶ 道路の役割

### ▼ 道路の役割 (+α)

- ① 環境への影響を考慮した効果 [約15千トン/年のCO2削減] 【+5.4億円】※  
岡山北バイパス整備に伴う速度向上による環境 (CO2) の改善効果を算定。
- ② 円滑なモビリティの確保 [例] 岡山市役所～北区建部支所までの所要時間短縮約3分 (供用前 (76分) → 供用後 (73分) ]
- ③ 沿道環境の改善 [NOx排出量: 約58トン/年 (0.7%) 削減 SPM排出量: 約5トン/年 (0.7%) 削減]  
当該道路の供用に影響を与えるエリアを対象に算出

※【 】は、供用後50年間の便益額として試算した値 (参考値)

	計画交通量	総事業費	総費用(C)	3便益(B)	費用対効果(B/C) ( )内は残事業B/C
参考① (3便益)	20,700~51,700台/日	590億円	1,070億円	2,712億円	2.5 (1.2)
参考② (その他の道路の役割を考慮)	20,700~51,700台/日	590億円	1,070億円	2,712億円 + α	—

※基準年: H23年

## 1. 再評価の視点

### ①事業の必要性の視点

#### 1) 事業を巡る社会情勢等の変化

- ◇岡山市北バイパス沿線部では、商業施設等も立地し、市街化が進展している。
- ◇周辺地域の自動車交通の増加(山陽自動車道岡山ICや岡山空港利用等による)に伴い、津島や津高地区では交通混雑が発生している。

#### 2) 事業の効果

- ◇費用便益比(B/C)= 2.5 (事業全体) 1.2(残事業)
- ◇道路の役割
  - ①環境への影響を考慮した効果[約15千トン/年のCO2削減]【+5.4億円】※  
岡山北バイパス整備に伴う速度向上による環境(CO2)の改善効果を算定。
  - ②円滑なモビリティの確保 [例] 岡山市役所～北区建部支所までの所要時間短縮約3分(供用前(76分)→供用後(73分)]
  - ③沿道環境の改善 [NOx排出量: 約58トン/年(0.7%)削減 SPM排出量: 約5トン/年(0.7%)削減]  
当該道路の供用に影響を与えるエリアを対象に算出

※【 】は、供用後50年間の便益額として試算した値(参考値)

#### 3) 事業の進捗状況

- ◇平成22年度末で用地買収は94%が完了しており、現在までに岡山市北区津島～岡山市北区吉宗までの8.7kmが供用済みである。

### ②事業の進捗見込み

- ◇投資効果の早期発現を図るため段階的に整備しており、平成24年度に津高大橋付近の4車線化を予定している。

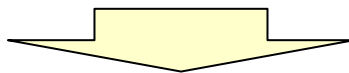
### ③コスト縮減や代替案立案の可能性

- ◇機能分離型支承の採用により、コスト縮減を図っている。

## 2. 市への意見照会結果

- ◇異議ありません。  
なお、広域的な交流や渋滞緩和を図るための重要な道路であり、引き続き整備の促進をお願いします。  
特に、一般国道53号岡山北バイパスにおいては、津高大橋の4車線化について、事業促進による早期供用を要望します。

### 【今後の対応方針(原案)】



- ◇上記①、②の各視点により、以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられるため、今後とも**事業継続が妥当**。
- ◇今後の事業の実施にあたっては、コスト縮減に努力しつつ、効率的な事業実施に努める。



◆前回評価時との比較

	前回評価時 (平成20年)	今回評価時 (平成23年)	備考 (前回評価時からの主な変更点)
事業諸元	L=10.5km	L=10.5km	—
計画交通量	22,500～50,500台/日	20,700～51,700台/日	・推計モデル及び将来フレームを統一(H22年度) ・ネットワーク設定の見直し(現況に加え事業化済み箇所を考慮)
総事業費	約590億円	約590億円	—
総費用 (C)	942億円	1,070億円	・基準年の変更(H20基準からH23基準)
総便益 (B)	2,452億円	2,712億円	・推計モデル、及び将来フレームを統一(H22年度) ・ネットワーク設定の見直し(現況に加え事業化済み箇所を考慮) ・基準年の変更(H20基準からH23基準)
費用対効果 (B/C)	2.6	2.5	総費用及び総便益を見直したため

※費用/便益は基準年における現在価値の値

一般国道53号 岡山北バイパス  
〔費用便益比（B／C）算定等資料〕

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道53号 岡山北バイパス
事業主体	中国地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	■ 便益が費用を上回っている	全事業：費用便益比(B/C) = 2.5 (経済的純現在価値(B-C) = 1,642億円、経済的内部収益率(EIRR) = 8.5%) 残事業：費用便益比(B/C) = 1.2 (経済的純現在価値(B-C) = 18億円、経済的内部収益率(EIRR) = 5.1%)

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更)	指標チェックの根拠
1. 活力	円滑なモビリティの確保	● 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	区間a(費用便益分析対象区間)について 渋滞損失時間(整備無): 47,247千人・時間/年 渋滞損失削減時間: 2,805千人・時間/年(47,247千人・時間/年⇒44,442千人・時間/年) 区間b(該当区間/並行区間)について 並行区間等(該当区間)の渋滞損失時間: 2,762千人・時間/年(岡山北バイパス【岡山市北区津島~岡山市北区御津中山】) 並行区間等(該当区間)の渋滞損失削減率: 59%削減(2,762千人・時間/年⇒1,145千人・時間/年)
		□ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	
		□ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
		■ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	岡山市内~岡山空港リムジンバス(中鉄バス・岡電バス)の利便性向上が見込まれる(34便/日)
		■ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	対象駅: 岡山駅(新幹線駅)、対象自治体名: 岡山県北部地域(旧建部町)、改善見込み: (岡山市北区建部支所~岡山駅: 73分~70分)
		■ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	対象空港: 岡山空港(第三種空港)、対象自治体名: 岡山市、改善見込み: (岡山市市役所~岡山空港: 48分~47分)
	物流効率化の支援	■ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	対象港湾: 岡山港(重要港湾)、対象自治体名: 岡山県北部地域(旧建部町)、改善見込み: (岡山市北区建部支所~岡山港: 99分~96分)
		■ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	農林水産業を主体とする地域名: 岡山市(旧御津町・旧建部町) 二条大麦、ぶどう、もも など
		□ 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	
	都市の再生	□ 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
□ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する			
□ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり			
□ 中心市街地内で行う事業である			
□ 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である			
□ DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する			
□ 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる			

1. 活力	国土・地域ネットワークの構築	<input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道（A'路線）としての位置づけ有り	
		<input checked="" type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり	地域高規格道路：空港津山道路の一部を構成
		<input type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	対象となる日常活動圏中心都市間：岡山市～津山市（岡山市役所～津山市役所）
		<input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する	
		<input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
	個性ある地域の形成	<input checked="" type="checkbox"/> 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	対象自治体名：岡山市建部町、日常活動圏中心都市：岡山市、改善見込み：（76分⇒73分）
		<input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
		<input type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	アクセス向上が期待される観光地：後楽園 年間観光光り込み客数：約73.9万人/年（H21年度）
		<input type="checkbox"/> 特別立法に基づく事業である	
		<input type="checkbox"/> 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	
2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	<input type="checkbox"/> 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上の全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
		<input type="checkbox"/> 交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される	
	無電柱化による美しい町並みの形成	<input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り	
		<input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区（歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
安全で安心できるくらしの確保	<input type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる		
3. 安全	安全な生活環境の確保	<input type="checkbox"/> 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
		<input type="checkbox"/> 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	

3. 安全	災害への備え	<input type="checkbox"/> 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1~2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
		対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	岡山県の第一次緊急輸送道路に位置付け（国道53号）
		■ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	代替する緊急輸送道路路線名：国道53号 代替する区間：岡山市北区津島~岡山市北区御津中山
		<input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）	
		<input type="checkbox"/> 現道等の防災点検又は震災点検対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	
		<input type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	
		<input type="checkbox"/> 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する	
		<input type="checkbox"/> 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する	
	<input type="checkbox"/> 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす		
4. 環境	地球環境の保全	● 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	(推計結果) CO2排出削減量：約15千t/年（整備なし2,143千t/年、整備あり2,128千t/年）
	生活環境の改善・保全	● 現道等における自動車からのNO2排出削減率	(推計結果) 評価対象区間：便益算定対象範囲 排出削減量：約58t/年、排出削減率：約0.7%削減（整備なし8,761t/年⇒整備あり8,703t/年）
		● 現道等における自動車からのSPM排出削減率	(推計結果) 評価対象区間：便益算定対象範囲 排出削減量：約5t/年、排出削減率：約0.7%削減（整備なし768t/年⇒整備あり763t/年）
		<input type="checkbox"/> 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
		<input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される	
5. その他	他のプロジェクトとの関係	■ 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている	「中国ブロックの社会資本の重点整備方針(H21.8)」に位置付けあり
		<input type="checkbox"/> 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	
		■ 他機関との連携プログラムに位置づけられている	新おかやま夢づくりプラン(H21.9)
		<input type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	

## 費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道53号	岡山北バイパス	L= 10.5 km	地域高規格道路	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
20,700～51,700	4	中国地方整備局

## ① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成23年度		
単純合計	575億円	138億円	713億円
うち残事業分	100億円	83億円	182億円
基準年における 現在価値 (C)	979億円	92億円	1,070億円
うち残事業分	75億円	23億円	98億円

## ② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成23年度			
供用年	平成35年度			
単年便益 (初年便益)	61億円	3.7億円	0.19億円	65億円
基準年における 現在価値 (B)	2,549億円	148億円	14億円	2,712億円
うち残事業分	108億円	2.3億円	6.1億円	116億円

③ 結果

費用便益比（事業全体）	2.5
経済的純現在価値（事業全体）	1,642億円
経済的内部収益率（事業全体）	8.5%
費用便益比（残事業）	1.2
経済的純現在価値（残事業）	18億円
経済的内部収益率（残事業）	5.1%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析（残事業を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	20,700~51,700	±10%	1.1~1.4
事業費	100億円	±10%	1.1~1.3
事業期間	11年	±20%	1.1~1.2

# 交通状況の変化

様式 - 3 ①

事業名：岡山北バイパス（事業全体）

（推計時点 H42 年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 岡山北バイパス 延長：10.5km	交通量 <sup>※1</sup>	[台/日]	15,100	30,000	
	走行時間 <sup>※2</sup>	[分]	4	15	
	走行時間費用 <sup>※3</sup>	[億円/年]	14.23	84.21	
②主な周辺道路 <sup>※4</sup>	現道（旧国道53号） ：7.3km	交通量	[台/日]	24,300	9,100
		走行時間	[分]	22	14
		走行時間費用	[億円/年]	102.79	28.81
	主）妹尾御津線 ：17.6km	交通量	[台/日]	10,100	5,500
		走行時間	[分]	29	27
		走行時間費用	[億円/年]	54.50	27.39
	（県）上芳賀岡山線 ：6.1km	交通量	[台/日]	14,500	12,300
		走行時間	[分]	13	12
		走行時間費用	[億円/年]	34.23	26.35
	主）岡山吉井線 ：5.4km	交通量	[台/日]	24,200	22,100
		走行時間	[分]	12	11
		走行時間費用	[億円/年]	46.11	40.82
	交通量	[台/日]			
	走行時間	[分]			
	走行時間費用	[億円/年]			
③その他道路合計：2346.5km	走行時間費用	[億円/年]	4,974.80	4,935.19	

		走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：2393.4km	走行時間短縮便益 [億円/年]	5,226.66	5,142.77	83.89

※四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

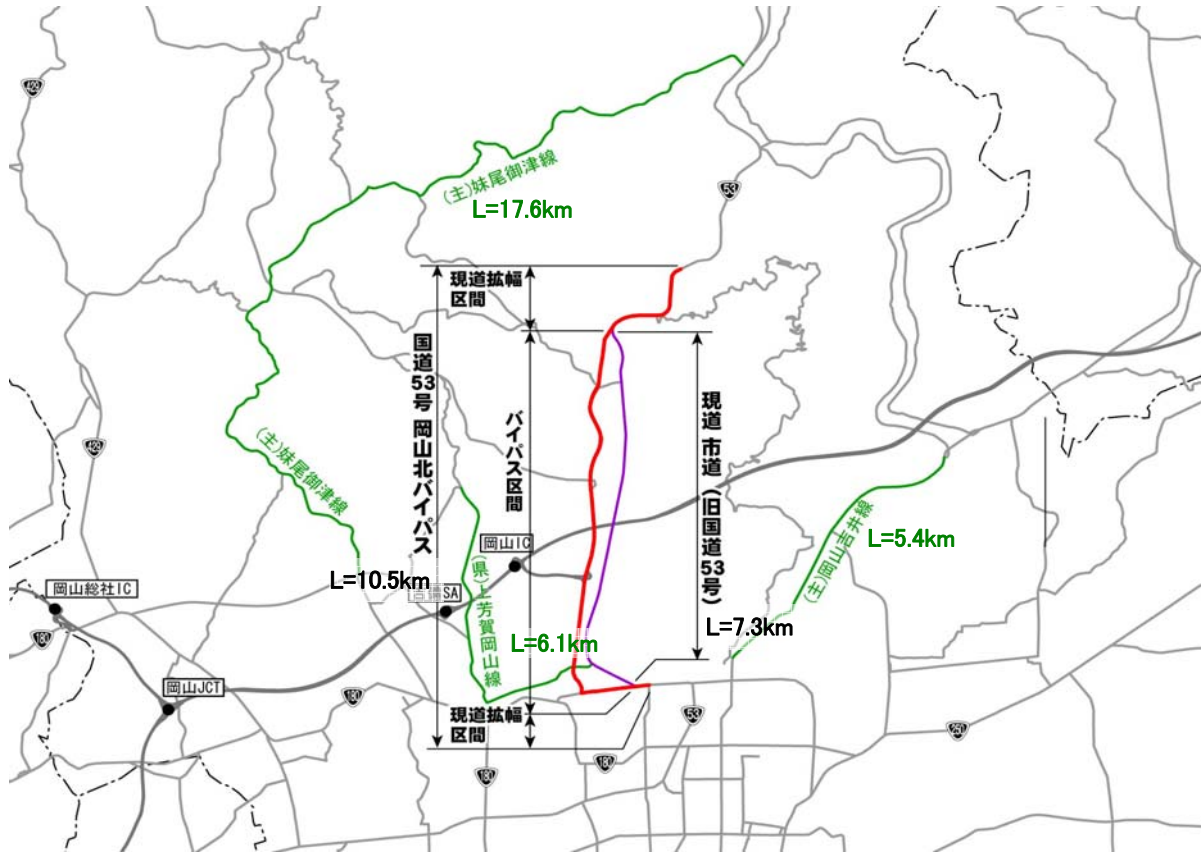
※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。



事業名：岡山北バイパス（事業全体）

(2) 図面（①、②に該当する道路を明示すること）



# 交通状況の変化

様式 - 3 ①

事業名：岡山北バイパス（残事業）

（推計時点 H42 年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 岡山北バイパス 延長：10.5km	交通量 <sup>※1</sup>	[台/日]	26,000	30,000	
	走行時間 <sup>※2</sup>	[分]	17	15	
	走行時間費用 <sup>※3</sup>	[億円/年]	81.60	84.21	
②主な周 辺道路 <sup>※4</sup>	現道（旧国道53号） ：7.3km	交通量	[台/日]	12,400	9,100
		走行時間	[分]	15	14
		走行時間費用	[億円/年]	36.32	28.81
	主）妹尾御津線 ：17.6km	交通量	[台/日]	6,200	5,500
		走行時間	[分]	27	27
		走行時間費用	[億円/年]	30.87	27.39
	（県）上芳賀岡山線 ：6.1km	交通量	[台/日]	12,100	12,300
		走行時間	[分]	12	12
		走行時間費用	[億円/年]	25.70	26.35
	主）岡山吉井線 ：5.4km	交通量	[台/日]	22,400	22,100
		走行時間	[分]	11	11
		走行時間費用	[億円/年]	41.29	40.82
	交通量	[台/日]			
	走行時間	[分]			
	走行時間費用	[億円/年]			
③その他道路合計：2346.5km	走行時間費用	[億円/年]	4,935.24	4,935.19	

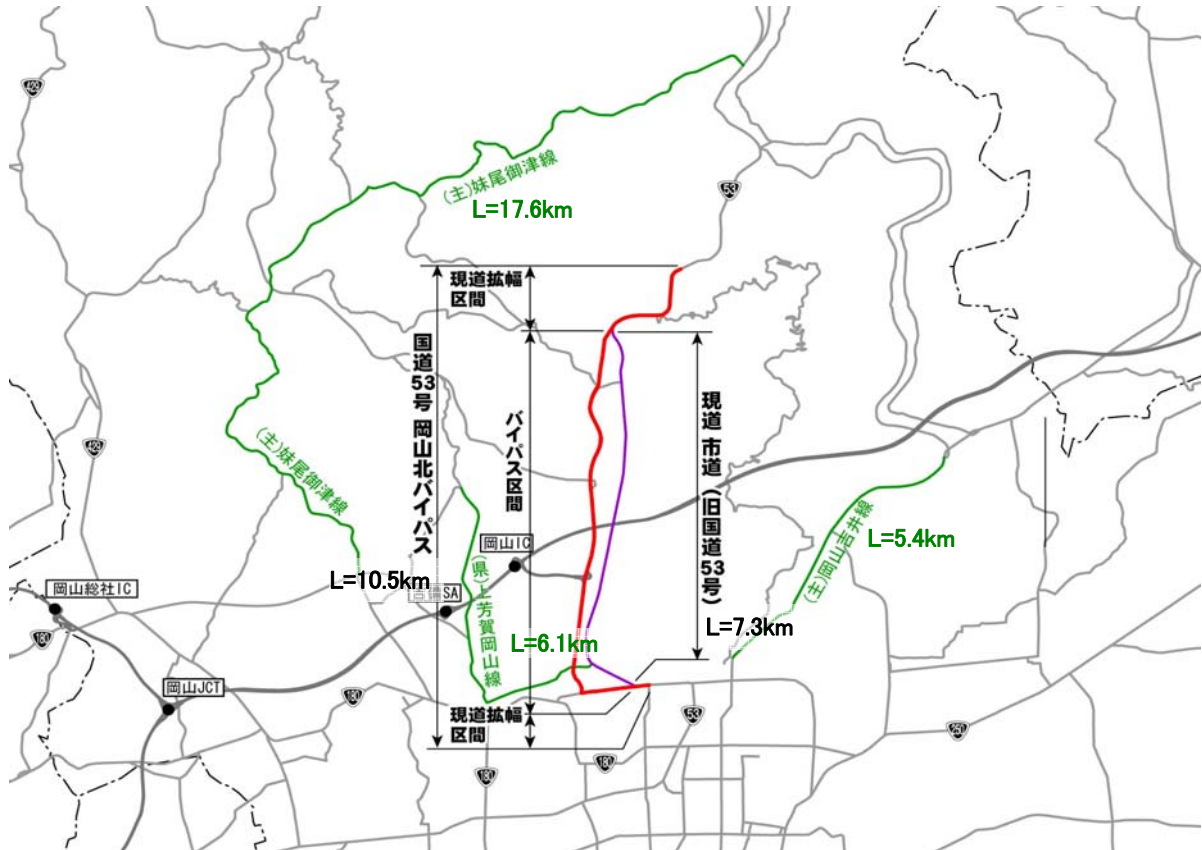
		走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：2393.4km	走行時間短縮便益 [億円/年]	5,151.02	5,142.77	8.25

※四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

- ※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- ※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- ※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- ※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- ※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

事業名：岡山北バイパス（残事業）

(2) 図面（①、②に該当する道路を明示すること）



## 費用便益分析の条件

事業名：岡山北バイパス

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年
	社会的割引率	4%
	基準年次	平成23年
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサス)
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
	その他( )	<input type="checkbox"/>
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
	有	<input type="checkbox"/>
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) ( )台トリップ/日 考慮した理由を記載
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の 採択理由	小規模事業である <input type="checkbox"/> 山間部海岸部で併行道路が少ない <input type="checkbox"/> その他( )
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>
	最終配分の速度 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>
	その他(最終配分交通量とQV式との関係から平均速度を設定)	<input checked="" type="checkbox"/>

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載		( ) %	
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	( ) 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
考慮する		<input type="checkbox"/>		
考慮する場合のみ		採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	( ) 日	
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載		
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ( )	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する	<input type="checkbox"/>		
その他				

(4)

項目		チェック欄	
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input checked="" type="checkbox"/>
		標準投資パターンを採用	<input type="checkbox"/>
		その他( )	<input type="checkbox"/>
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載	
		実績値に基づき維持管理費用を算出	
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input type="checkbox"/>
その他			
4. その他			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			

## 費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:岡山北バイパス(事業全体)

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在単価	単純単価	現在単価
				0.31	10.5	3.21	
-25年目	S 49	4.2681	62.5	0.10	0.61		
-24年目	S 50	4.1039	66.1	0.10	0.56		
-23年目	S 51	3.9461	71.7	0.40	1.98		
-22年目	S 52	3.7943	76.0	0.15	0.67		
-21年目	S 53	3.6484	79.2	0.20	0.83		
-20年目	S 54	3.5081	81.3	0.25	0.97		
-19年目	S 55	3.3731	86.4	11.20	39.35		
-18年目	S 56	3.2434	88.6	1.70	5.60		
-17年目	S 57	3.1187	89.6	8.10	25.37		
-16年目	S 58	2.9987	90.5	13.40	39.96		
-15年目	S 59	2.8834	92.3	11.90	33.46		
-14年目	S 60	2.7725	93.0	14.90	39.98		
-13年目	S 61	2.6658	94.6	21.90	55.54		
-12年目	S 62	2.5633	94.4	23.20	56.70		
-11年目	S 63	2.4647	94.9	28.71	67.11		
-10年目	H 1	2.3699	97.4	27.86	61.01		
-9年目	H 2	2.2788	99.6	25.17	51.83		
-8年目	H 3	2.1911	102.0	16.12	31.17		
-7年目	H 4	2.1068	103.4	14.17	25.98		
-6年目	H 5	2.0258	103.7	29.25	51.43		
-5年目	H 6	1.9479	103.6	26.03	44.04		
-4年目	H 7	1.8730	103.0	47.26	77.34		
-3年目	H 8	1.8009	102.4	31.94	50.56		
-2年目	H 9	1.7317	103.4	31.16	46.97		
-1年目	H 10	1.6651	102.8	34.40	50.15		
暫定供用開始	H 11	1.6010	101.3	18.57	26.42	2.44	3.47
1年目	H 12	1.5395	99.7	11.43	15.88	2.44	3.39
2年目	H 13	1.4802	98.4	3.52	4.77	2.44	3.30
3年目	H 14	1.4233	96.6	5.33	7.07	2.44	3.23
4年目	H 15	1.3686	95.4	3.14	4.06	2.44	3.15
5年目	H 16	1.3159	94.4	1.90	2.39	2.44	3.06
6年目	H 17	1.2653	93.2	1.14	1.40	2.44	2.98
7年目	H 18	1.2167	92.5	0.20	0.24	2.44	2.89
8年目	H 19	1.1699	91.7	0.98	1.13	2.44	2.80
9年目	H 20	1.1249	91.2	0.09	0.10	2.44	2.71
10年目	H 21	1.0816	90.0	2.13	2.31	2.44	2.64
11年目	H 22	1.0400	90.0	5.14	5.35	2.44	2.54
12年目	H 23	1.0000	90.0	2.09	2.09	2.44	2.44
13年目	H 24	0.9615	90.0	3.27	3.14	2.44	2.34
14年目	H 25	0.9246	90.0	0.95	0.88	2.44	2.25
15年目	H 26	0.8890	90.0	4.80	4.27	2.44	2.17
16年目	H 27	0.8548	90.0	7.68	6.57	2.44	2.08
17年目	H 28	0.8219	90.0	9.60	7.89	2.44	2.00
18年目	H 29	0.7903	90.0	11.52	9.11	2.44	1.93
19年目	H 30	0.7599	90.0	14.39	10.93	2.44	1.85
20年目	H 31	0.7307	90.0	14.29	10.44	2.44	1.78
21年目	H 32	0.7026	90.0	19.05	13.38	2.44	1.71
22年目	H 33	0.6756	90.0	9.52	6.43	2.44	1.65
23年目	H 34	0.6496	90.0	4.51	2.93	2.44	1.58
供用開始年次	H 35	0.6246	90.0			3.06	1.91
25年目	H 36	0.6006	90.0			3.06	1.84
26年目	H 37	0.5775	90.0			3.06	1.77
27年目	H 38	0.5553	90.0			3.06	1.70
28年目	H 39	0.5339	90.0			3.06	1.63
29年目	H 40	0.5134	90.0			3.06	1.57
30年目	H 41	0.4936	90.0			3.06	1.51
31年目	H 42	0.4746	90.0			3.06	1.45
32年目	H 43	0.4564	90.0			3.06	1.40
33年目	H 44	0.4388	90.0			3.06	1.34
34年目	H 45	0.4220	90.0			3.06	1.29
35年目	H 46	0.4057	90.0			3.06	1.24
36年目	H 47	0.3901	90.0			3.06	1.19
37年目	H 48	0.3751	90.0			3.06	1.15
38年目	H 49	0.3607	90.0			3.06	1.10
39年目	H 50	0.3468	90.0			3.06	1.06
40年目	H 51	0.3335	90.0			3.06	1.02
41年目	H 52	0.3207	90.0			3.06	0.98
42年目	H 53	0.3083	90.0			3.06	0.94
43年目	H 54	0.2965	90.0			3.06	0.91
44年目	H 55	0.2851	90.0			3.06	0.87
45年目	H 56	0.2741	90.0			3.06	0.84
46年目	H 57	0.2636	90.0			3.06	0.81
47年目	H 58	0.2534	90.0			3.06	0.77
48年目	H 59	0.2437	90.0			3.06	0.74
49年目	H 60	0.2343	90.0	-126.84	-29.72	3.06	0.72
合計				448.00	978.64	138.00	91.68
単純事業費計				574.84		138.00	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

## 費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:岡山北バイパス(残事業)

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
				0.22	7.9	1.74	
-11年目	H 24	0.9615	90.0	3.27	3.14		
-10年目	H 25	0.9246	90.0	0.95	0.88		
-9年目	H 26	0.8890	90.0	4.80	4.27		
-8年目	H 27	0.8548	90.0	7.68	6.57		
-7年目	H 28	0.8219	90.0	9.60	7.89		
-6年目	H 29	0.7903	90.0	11.52	9.11		
-5年目	H 30	0.7599	90.0	14.39	10.93		
-4年目	H 31	0.7307	90.0	14.29	10.44		
-3年目	H 32	0.7026	90.0	19.05	13.38		
-2年目	H 33	0.6756	90.0	9.52	6.43		
-1年目	H 34	0.6496	90.0	4.51	2.93		
供用開始年次	H 35	0.6246	90.0			1.66	1.04
1年目	H 36	0.6006	90.0			1.66	1.00
2年目	H 37	0.5775	90.0			1.66	0.96
3年目	H 38	0.5553	90.0			1.66	0.92
4年目	H 39	0.5339	90.0			1.66	0.88
5年目	H 40	0.5134	90.0			1.66	0.85
6年目	H 41	0.4936	90.0			1.66	0.82
7年目	H 42	0.4746	90.0			1.66	0.79
8年目	H 43	0.4564	90.0			1.66	0.76
9年目	H 44	0.4388	90.0			1.66	0.73
10年目	H 45	0.4220	90.0			1.66	0.70
11年目	H 46	0.4057	90.0			1.66	0.67
12年目	H 47	0.3901	90.0			1.66	0.65
13年目	H 48	0.3751	90.0			1.66	0.62
14年目	H 49	0.3607	90.0			1.66	0.60
15年目	H 50	0.3468	90.0			1.66	0.57
16年目	H 51	0.3335	90.0			1.66	0.55
17年目	H 52	0.3207	90.0			1.66	0.53
18年目	H 53	0.3083	90.0			1.66	0.51
19年目	H 54	0.2965	90.0			1.66	0.49
20年目	H 55	0.2851	90.0			1.66	0.47
21年目	H 56	0.2741	90.0			1.66	0.45
22年目	H 57	0.2636	90.0			1.66	0.44
23年目	H 58	0.2534	90.0			1.66	0.42
24年目	H 59	0.2437	90.0			1.66	0.40
25年目	H 60	0.2343	90.0			1.66	0.39
26年目	H 61	0.2253	90.0			1.66	0.37
27年目	H 62	0.2166	90.0			1.66	0.36
28年目	H 63	0.2083	90.0			1.66	0.35
29年目	H 64	0.2003	90.0			1.66	0.33
30年目	H 65	0.1926	90.0			1.66	0.32
31年目	H 66	0.1852	90.0			1.66	0.31
32年目	H 67	0.1780	90.0			1.66	0.30
33年目	H 68	0.1712	90.0			1.66	0.28
34年目	H 69	0.1646	90.0			1.66	0.27
35年目	H 70	0.1583	90.0			1.66	0.26
36年目	H 71	0.1522	90.0			1.66	0.25
37年目	H 72	0.1463	90.0			1.66	0.24
38年目	H 73	0.1407	90.0			1.66	0.23
39年目	H 74	0.1353	90.0			1.66	0.22
40年目	H 75	0.1301	90.0			1.66	0.22
41年目	H 76	0.1251	90.0			1.66	0.21
42年目	H 77	0.1203	90.0			1.66	0.20
43年目	H 78	0.1157	90.0			1.66	0.19
44年目	H 79	0.1112	90.0			1.66	0.18
45年目	H 80	0.1069	90.0			1.66	0.18
46年目	H 81	0.1028	90.0			1.66	0.17
47年目	H 82	0.0989	90.0			1.66	0.16
48年目	H 83	0.0951	90.0			1.66	0.16
49年目	H 84	0.0914	90.0	-7.21	-0.66	1.66	0.15
合計				92.38	75.32	82.86	23.12

単純事業費計		99.59	82.86
--------	--	-------	-------

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後~~の~~用地費)を控除している。



便益の現在価値算定表

箇所名: 岡山北バイパス(事業全体)

年次	年度 (基準年) H23	総走行台キロの年次別伸び率 (山陽ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレーター	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合計 (億円)	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 (A)×(2)	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 11	1.02756	1.00309	1.00309	1.01822	1.6010	101.3	41.92	12.90	6.47	61.29	87.18	2.40	0.65	0.69	3.74	5.31	0.19	0.26	65.21	92.76
1年目	H 12	1.04419	0.99872	0.99872	1.02705	1.5395	99.7	43.77	12.88	6.47	63.12	87.71	2.51	0.64	0.69	3.84	5.34	0.19	0.27	67.15	93.31
2年目	H 13	1.04232	0.99865	0.99865	1.02632	1.4802	98.4	45.62	12.87	6.46	64.94	87.92	2.61	0.64	0.69	3.94	5.34	0.20	0.27	69.08	93.53
3年目	H 14	1.04060	0.99871	0.99871	1.02567	1.4233	96.6	47.47	12.85	6.45	66.77	88.54	2.72	0.64	0.69	4.05	5.37	0.20	0.27	71.02	94.18
4年目	H 15	1.03901	0.99871	0.99871	1.02502	1.3686	95.4	49.32	12.83	6.44	68.60	88.57	2.82	0.64	0.69	4.15	5.36	0.21	0.27	72.96	94.19
5年目	H 16	1.03755	0.99865	0.99865	1.02439	1.3159	94.4	51.18	12.82	6.43	70.42	88.35	2.93	0.64	0.69	4.26	5.34	0.21	0.26	74.89	93.96
6年目	H 17	1.03619	0.99871	0.99871	1.02383	1.2653	93.2	53.03	12.80	6.42	72.25	88.28	3.04	0.64	0.69	4.36	5.33	0.22	0.26	76.83	93.87
7年目	H 18	0.99636	0.99503	1.01477	0.99870	1.2167	92.5	52.83	12.74	6.52	72.09	85.34	3.02	0.64	0.70	4.36	5.16	0.22	0.26	76.66	90.75
8年目	H 19	0.99635	0.99501	1.01456	0.99870	1.1699	91.7	52.64	12.67	6.61	71.93	82.58	3.01	0.63	0.71	4.35	5.00	0.22	0.25	76.50	87.83
9年目	H 20	0.99634	0.99498	1.01435	0.99869	1.1249	91.2	52.45	12.61	6.71	71.77	79.66	3.00	0.63	0.72	4.35	4.83	0.22	0.24	76.33	84.73
10年目	H 21	0.99632	0.99496	1.01415	0.99869	1.0816	90.0	52.26	12.54	6.80	71.60	77.45	2.99	0.63	0.73	4.34	4.70	0.22	0.23	76.16	82.38
11年目	H 22	0.99631	0.99493	1.01395	0.99869	1.0400	90.0	52.06	12.48	6.90	71.44	74.30	2.98	0.62	0.74	4.34	4.51	0.21	0.22	76.00	79.04
12年目	H 23	0.99630	0.99491	1.01376	0.99869	1.0000	90.0	51.87	12.42	6.99	71.28	71.28	2.97	0.62	0.75	4.34	4.34	0.21	0.21	75.83	75.83
13年目	H 24	0.99628	0.99488	1.01357	0.99869	0.9615	90.0	51.68	12.35	7.09	71.12	68.38	2.96	0.62	0.76	4.33	4.17	0.21	0.21	75.67	72.76
14年目	H 25	0.99627	0.99486	1.01339	0.99869	0.9246	90.0	51.48	12.29	7.18	70.96	65.60	2.95	0.61	0.77	4.33	4.00	0.21	0.20	75.50	69.80
15年目	H 26	0.99626	0.99483	1.01321	0.99868	0.8890	90.0	51.29	12.23	7.28	70.80	62.94	2.94	0.61	0.78	4.32	3.84	0.21	0.19	75.34	66.97
16年目	H 27	0.99624	0.99480	1.01304	0.99868	0.8548	90.0	51.10	12.16	7.37	70.64	60.38	2.92	0.61	0.79	4.32	3.69	0.21	0.18	75.17	64.26
17年目	H 28	0.99623	0.99477	1.01287	0.99868	0.8219	90.0	50.91	12.10	7.47	70.47	57.92	2.91	0.61	0.80	4.32	3.55	0.21	0.18	75.00	61.65
18年目	H 29	0.99621	0.99475	1.01271	0.99868	0.7903	90.0	50.71	12.04	7.56	70.31	55.57	2.90	0.60	0.81	4.31	3.41	0.21	0.17	74.84	59.15
19年目	H 30	0.99620	0.99472	1.01255	0.99868	0.7599	90.0	50.52	11.97	7.66	70.15	53.31	2.89	0.60	0.82	4.31	3.27	0.21	0.16	74.67	56.74
20年目	H 31	0.99618	0.99469	1.01239	0.99868	0.7307	90.0	50.33	11.91	7.75	69.99	51.14	2.88	0.60	0.83	4.30	3.14	0.21	0.16	74.51	54.44
21年目	H 32	0.99617	0.99466	1.01224	0.99867	0.7026	90.0	50.14	11.85	7.85	69.83	49.06	2.87	0.59	0.84	4.30	3.02	0.21	0.15	74.34	52.23
22年目	H 33	0.99714	0.99416	1.01580	0.99988	0.6756	90.0	49.99	11.78	7.97	69.74	47.11	2.86	0.59	0.85	4.30	2.91	0.21	0.14	74.25	50.16
23年目	H 34	0.99713	0.99413	1.01556	0.99988	0.6496	90.0	49.85	11.71	8.09	69.65	45.24	2.85	0.59	0.86	4.30	2.80	0.21	0.14	74.17	48.18
24年目	H 35	0.99713	0.99409	1.01532	0.99988	0.6246	90.0	49.78	11.64	8.21	69.57	43.32	2.84	0.59	0.87	4.30	2.69	0.21	0.14	74.09	46.20
25年目	H 36	0.99712	0.99406	1.01509	0.99988	0.6006	90.0	49.61	11.57	8.34	69.50	41.37	2.83	0.59	0.88	4.30	2.58	0.21	0.14	74.02	44.22
26年目	H 37	0.99711	0.99402	1.01486	0.99988	0.5775	90.0	49.44	11.50	8.47	69.43	39.42	2.82	0.59	0.89	4.30	2.47	0.21	0.14	73.95	42.24
27年目	H 38	0.99710	0.99398	1.01465	0.99988	0.5553	90.0	49.26	11.43	8.60	69.36	37.47	2.81	0.59	0.90	4.30	2.36	0.21	0.14	73.88	40.26
28年目	H 39	0.99709	0.99395	1.01444	0.99988	0.5339	90.0	49.09	11.36	8.73	69.29	35.52	2.80	0.59	0.91	4.30	2.25	0.21	0.14	73.81	38.28
29年目	H 40	0.99708	0.99391	1.01423	0.99988	0.5134	90.0	48.92	11.29	8.86	69.22	33.57	2.79	0.59	0.92	4.30	2.14	0.21	0.14	73.74	36.30
30年目	H 41	0.99708	0.99387	1.01403	0.99988	0.4936	90.0	48.75	11.22	8.99	69.15	31.62	2.78	0.59	0.93	4.30	2.03	0.21	0.14	73.67	34.32
31年目	H 42	0.99707	0.99384	1.01384	0.99988	0.4746	90.0	48.57	11.15	9.12	69.08	29.67	2.77	0.59	0.94	4.30	1.92	0.21	0.14	73.60	32.34
32年目	H 43	0.99707	0.99380	1.01364	0.99988	0.4564	90.0	48.39	11.08	9.25	69.01	27.72	2.76	0.59	0.95	4.30	1.81	0.21	0.14	73.53	30.36
33年目	H 44	0.99706	0.99377	1.01344	0.99988	0.4388	90.0	48.21	11.01	9.38	68.94	25.77	2.75	0.59	0.96	4.30	1.70	0.21	0.14	73.46	28.38
34年目	H 45	0.99705	0.99374	1.01324	0.99988	0.4220	90.0	48.03	10.94	9.51	68.87	23.82	2.74	0.59	0.97	4.30	1.59	0.21	0.14	73.39	26.40
35年目	H 46	0.99704	0.99371	1.01304	0.99988	0.4057	90.0	47.85	10.87	9.64	68.80	21.87	2.73	0.59	0.98	4.30	1.48	0.21	0.14	73.32	24.42
36年目	H 47	0.99703	0.99368	1.01284	0.99988	0.3901	90.0	47.67	10.80	9.77	68.73	20.00	2.72	0.59	0.99	4.30	1.37	0.21	0.14	73.25	22.44
37年目	H 48	0.99702	0.99365	1.01264	0.99988	0.3751	90.0	47.49	10.73	9.90	68.66	18.13	2.71	0.59	1.00	4.30	1.26	0.21	0.14	73.18	20.46
38年目	H 49	0.99701	0.99362	1.01244	0.99988	0.3607	90.0	47.31	10.66	10.03	68.59	16.26	2.70	0.59	1.01	4.30	1.15	0.21	0.14	73.11	18.48
39年目	H 50	0.99700	0.99359	1.01224	0.99988	0.3468	90.0	47.13	10.59	10.16	68.52	14.39	2.69	0.59	1.02	4.30	1.04	0.21	0.14	73.04	16.50
40年目	H 51	0.99699	0.99356	1.01204	0.99988	0.3335	90.0	46.95	10.52	10.29	68.45	12.52	2.68	0.59	1.03	4.30	0.93	0.21	0.14	72.97	14.52
41年目	H 52	0.99698	0.99353	1.01184	0.99988	0.3207	90.0	46.77	10.45	10.42	68.38	10.65	2.67	0.59	1.04	4.30	0.82	0.21	0.14	72.90	12.54
42年目	H 53	0.99697	0.99350	1.01164	0.99988	0.3083	90.0	46.59	10.38	10.55	68.31	8.78	2.66	0.59	1.05	4.30	0.71	0.21	0.14	72.83	10.56
43年目	H 54	0.99696	0.99347	1.01144	0.99988	0.2965	90.0	46.41	10.31	10.68	68.24	6.91	2.65	0.59	1.06	4.30	0.60	0.21	0.14	72.76	8.58
44年目	H 55	0.99695	0.99344	1.01124	0.99988	0.2851	90.0	46.23	10.24	10.81	68.17	5.04	2.64	0.59	1.07	4.30	0.49	0.21	0.14	72.69	6.60
45年目	H 56	0.99694	0.99341	1.01104	0.99988	0.2741	90.0	46.05	10.17	10.94	68.10	3.17	2.63	0.59	1.08	4.30	0.38	0.21	0.14	72.62	4.62
46年目	H 57	0.99693	0.99338	1.01084	0.99988	0.2636	90.0	45.87	10.10	11.07	68.03	1.30	2.62	0.59	1.09	4.30	0.27	0.21	0.14	72.55	2.64
47年目	H 58	0.99692	0.99335	1.01064	0.99988	0.2534	90.0	45.69	10.03	11.20	67.96	-0.57	2.61	0.59	1.10	4.30	0.16	0.21	0.14	72.48	0.66
48年目	H 59	0.99691	0.99332	1.01044	0.99988	0.2437	90.0	45.51	9.96	11.33	67.89	-2.70	2.60	0.59	1.11	4.30	0.05	0.21	0.14	72.41	-1.32
49年目	H 60	0.99690	0.99329	1.01024	0.99988	0.2343	90.0	45.33	9.89	11.46	67.82	-4.83	2.59	0.59	1.12	4.30	-0.06	0.21	0.14	72.34	-3.34
合計								2,655.23	638.32	470.84	3,764.38	2,549.46	136.68	29.13	47.09	212.91	148.46	26.95	13.97	4,004.24	2,711.89

便益の現在価値算定表

箇所名：岡山北バイパス(残事業)

年次	年度 (基準年) H23	総走行台キロの年次別伸び率 (山陽ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレーター	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合計 (億円)	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 (A)×(2)	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	現在価値 割引率%
供用開始年次	H 35	0.99713	0.99409	1.01532	0.99988	0.6246	90.0	5.43	1.54	1.32	8.29	5.18	0.08	0.03	0.06	0.17	0.11	0.47	0.29	8.93	5.58
1年目	H 36	0.99712	0.99406	1.01509	0.99988	0.6006	90.0	5.42	1.53	1.34	8.28	4.98	0.08	0.03	0.06	0.17	0.10	0.47	0.28	8.93	5.36
2年目	H 37	0.99711	0.99402	1.01486	0.99988	0.5775	90.0	5.40	1.52	1.36	8.28	4.78	0.08	0.03	0.06	0.17	0.10	0.47	0.27	8.92	5.15
3年目	H 38	0.99710	0.99398	1.01465	0.99988	0.5553	90.0	5.39	1.51	1.38	8.27	4.59	0.08	0.03	0.07	0.17	0.10	0.47	0.26	8.92	4.95
4年目	H 39	0.99709	0.99395	1.01444	0.99988	0.5339	90.0	5.37	1.50	1.40	8.27	4.42	0.08	0.03	0.07	0.17	0.09	0.47	0.25	8.91	4.76
5年目	H 40	0.99708	0.99391	1.01423	0.99988	0.5134	90.0	5.35	1.50	1.42	8.26	4.24	0.08	0.03	0.07	0.17	0.09	0.47	0.24	8.91	4.57
6年目	H 41	0.99708	0.99387	1.01403	0.99988	0.4936	90.0	5.34	1.49	1.44	8.26	4.08	0.08	0.03	0.07	0.18	0.09	0.47	0.23	8.90	4.40
7年目	H 42	0.99707	0.99384	1.01384	0.99988	0.4746	90.0	5.32	1.48	1.45	8.25	3.92	0.08	0.03	0.07	0.18	0.08	0.47	0.22	8.90	4.22
8年目	H 43	0.99232	0.99307	1.00117	0.99423	0.4564	90.0	5.28	1.47	1.46	8.21	3.74	0.08	0.03	0.07	0.18	0.08	0.47	0.21	8.85	4.04
9年目	H 44	0.99226	0.99302	1.00116	0.99419	0.4388	90.0	5.24	1.46	1.46	8.16	3.58	0.08	0.03	0.07	0.17	0.08	0.46	0.20	8.79	3.86
10年目	H 45	0.99220	0.99298	1.00116	0.99416	0.4220	90.0	5.20	1.45	1.46	8.11	3.42	0.07	0.03	0.07	0.17	0.07	0.46	0.19	8.74	3.69
11年目	H 46	0.99214	0.99293	1.00116	0.99413	0.4057	90.0	5.16	1.44	1.46	8.06	3.27	0.07	0.03	0.07	0.17	0.07	0.46	0.19	8.69	3.53
12年目	H 47	0.99207	0.99288	1.00116	0.99409	0.3901	90.0	5.12	1.43	1.46	8.01	3.12	0.07	0.03	0.07	0.17	0.07	0.46	0.18	8.64	3.37
13年目	H 48	0.99201	0.99282	1.00116	0.99406	0.3751	90.0	5.08	1.42	1.47	7.96	2.99	0.07	0.03	0.07	0.17	0.06	0.45	0.17	8.58	3.22
14年目	H 49	0.99195	0.99277	1.00116	0.99402	0.3607	90.0	5.04	1.41	1.47	7.91	2.85	0.07	0.03	0.07	0.17	0.06	0.45	0.16	8.53	3.08
15年目	H 50	0.99188	0.99272	1.00116	0.99398	0.3468	90.0	5.00	1.40	1.47	7.86	2.73	0.07	0.03	0.07	0.17	0.06	0.45	0.16	8.48	2.94
16年目	H 51	0.99181	0.99267	1.00115	0.99395	0.3335	90.0	4.95	1.39	1.47	7.81	2.60	0.07	0.03	0.07	0.17	0.06	0.45	0.15	8.42	2.81
17年目	H 52	0.99175	0.99261	1.00115	0.99391	0.3207	90.0	4.91	1.38	1.47	7.76	2.49	0.07	0.03	0.07	0.17	0.05	0.44	0.14	8.37	2.68
18年目	H 53	0.99168	0.99256	1.00115	0.99387	0.3083	90.0	4.87	1.36	1.47	7.71	2.38	0.07	0.03	0.07	0.17	0.05	0.44	0.14	8.32	2.56
19年目	H 54	0.99161	0.99250	1.00115	0.99384	0.2965	90.0	4.83	1.35	1.48	7.66	2.27	0.07	0.03	0.07	0.17	0.05	0.44	0.13	8.27	2.45
20年目	H 55	0.99154	0.99245	1.00115	0.99380	0.2851	90.0	4.79	1.34	1.48	7.61	2.17	0.07	0.03	0.07	0.17	0.05	0.43	0.12	8.21	2.34
21年目	H 56	0.99146	0.99239	1.00115	0.99376	0.2741	90.0	4.75	1.33	1.48	7.56	2.07	0.07	0.03	0.07	0.17	0.05	0.43	0.12	8.16	2.24
22年目	H 57	0.99139	0.99233	1.00115	0.99372	0.2636	90.0	4.71	1.32	1.48	7.51	1.98	0.07	0.03	0.07	0.17	0.04	0.43	0.11	8.11	2.14
23年目	H 58	0.99132	0.99227	1.00115	0.99368	0.2534	90.0	4.67	1.31	1.48	7.46	1.89	0.07	0.03	0.07	0.16	0.04	0.43	0.11	8.05	2.04
24年目	H 59	0.99124	0.99221	1.00114	0.99364	0.2437	90.0	4.63	1.30	1.48	7.41	1.81	0.07	0.03	0.07	0.16	0.04	0.42	0.10	8.00	1.95
25年目	H 60	0.99116	0.99215	1.00114	0.99360	0.2343	90.0	4.59	1.29	1.49	7.37	1.73	0.07	0.03	0.07	0.16	0.04	0.42	0.10	7.95	1.86
26年目	H 61	0.99108	0.99209	1.00114	0.99356	0.2253	90.0	4.55	1.28	1.49	7.32	1.65	0.07	0.03	0.07	0.16	0.04	0.42	0.09	7.90	1.78
27年目	H 62	0.99100	0.99202	1.00114	0.99352	0.2166	90.0	4.50	1.27	1.49	7.27	1.57	0.06	0.03	0.07	0.16	0.03	0.42	0.09	7.84	1.70
28年目	H 63	0.99092	0.99196	1.00114	0.99348	0.2083	90.0	4.46	1.26	1.49	7.22	1.50	0.06	0.03	0.07	0.16	0.03	0.41	0.09	7.79	1.62
29年目	H 64	0.99084	0.99190	1.00114	0.99343	0.2003	90.0	4.42	1.25	1.49	7.17	1.44	0.06	0.03	0.07	0.16	0.03	0.41	0.08	7.74	1.55
30年目	H 65	0.99075	0.99183	1.00114	0.99339	0.1926	90.0	4.38	1.24	1.49	7.12	1.37	0.06	0.03	0.07	0.16	0.03	0.41	0.08	7.68	1.48
31年目	H 66	0.99067	0.99176	1.00113	0.99334	0.1852	90.0	4.34	1.23	1.50	7.07	1.31	0.06	0.02	0.07	0.16	0.03	0.40	0.07	7.63	1.41
32年目	H 67	0.99058	0.99169	1.00113	0.99330	0.1780	90.0	4.30	1.22	1.50	7.02	1.25	0.06	0.02	0.07	0.16	0.03	0.40	0.07	7.58	1.35
33年目	H 68	0.99049	0.99162	1.00113	0.99325	0.1712	90.0	4.26	1.21	1.50	6.97	1.19	0.06	0.02	0.07	0.16	0.03	0.40	0.07	7.53	1.29
34年目	H 69	0.99040	0.99155	1.00113	0.99321	0.1646	90.0	4.22	1.20	1.50	6.92	1.14	0.06	0.02	0.07	0.16	0.03	0.40	0.07	7.47	1.23
35年目	H 70	0.99031	0.99148	1.00113	0.99316	0.1583	90.0	4.18	1.19	1.50	6.87	1.09	0.06	0.02	0.07	0.16	0.02	0.39	0.06	7.42	1.17
36年目	H 71	0.99021	0.99141	1.00113	0.99312	0.1522	90.0	4.14	1.18	1.50	6.82	1.04	0.06	0.02	0.07	0.16	0.02	0.39	0.06	7.37	1.12
37年目	H 72	0.99011	0.99133	1.00113	0.99307	0.1463	90.0	4.10	1.17	1.51	6.77	0.99	0.06	0.02	0.07	0.15	0.02	0.39	0.06	7.31	1.07
38年目	H 73	0.99002	0.99126	1.00113	0.99302	0.1407	90.0	4.05	1.16	1.51	6.72	0.95	0.06	0.02	0.07	0.15	0.02	0.39	0.05	7.26	1.02
39年目	H 74	0.98991	0.99118	1.00112	0.99297	0.1353	90.0	4.01	1.15	1.51	6.67	0.90	0.06	0.02	0.07	0.15	0.02	0.38	0.05	7.21	0.98
40年目	H 75	0.98981	0.99110	1.00112	0.99292	0.1301	90.0	3.97	1.14	1.51	6.62	0.86	0.06	0.02	0.07	0.15	0.02	0.38	0.05	7.16	0.93
41年目	H 76	0.98971	0.99102	1.00112	0.99287	0.1251	90.0	3.93	1.13	1.51	6.57	0.82	0.06	0.02	0.07	0.15	0.02	0.38	0.05	7.10	0.89
42年目	H 77	0.98960	0.99094	1.00112	0.99282	0.1203	90.0	3.89	1.12	1.51	6.52	0.78	0.06	0.02	0.07	0.15	0.02	0.37	0.05	7.05	0.85
43年目	H 78	0.98949	0.99086	1.00112	0.99277	0.1157	90.0	3.85	1.11	1.52	6.48	0.75	0.06	0.02	0.07	0.15	0.02	0.37	0.04	7.00	0.81
44年目	H 79	0.98938	0.99077	1.00112	0.99271	0.1112	90.0	3.81	1.10	1.52	6.43	0.71	0.05	0.02	0.07	0.15	0.02	0.37	0.04	6.94	0.77
45年目	H 80	0.98926	0.99069	1.00112	0.99266	0.1069	90.0	3.77	1.09	1.52	6.38	0.68	0.05	0.02	0.07	0.15	0.02	0.37	0.04	6.89	0.74
46年目	H 81	0.98915	0.99060	1.00112	0.99261	0.1028	90.0	3.73	1.08	1.52	6.33	0.65	0.05	0.02	0.07	0.15	0.02	0.36	0.04	6.84	0.70
47年目	H 82	0.98903	0.99051	1.00111	0.99255	0.0989	90.0	3.69	1.07	1.52	6.28	0.62	0.05	0.02	0.07	0.15	0.01	0.36	0.04	6.79	0.67
48年目	H 83	0.98891	0.99042	1.00111	0.99250	0.0951	90.0	3.65	1.06	1.52	6.23	0.59	0.05	0.02	0.07	0.15	0.01	0.36	0.03	6.73	0.64
49年目	H 84	0.98878	1.00111	0.99244	0.0914	90.0	3.60	1.05	1.53	6.18	0.56	0.05	0.02	0.07	0.15	0.01	0.36	0.03	6.68	0.61	
合計								229.64	64.88	73.72	368.24	107.70	3.29	1.31	3.53	8.13	2.33	21.03	6.14	397.40	116.17

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道53号	岡山北バイパス	4/4	10.5km

## ■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費		式	1	34,494	
	改良費		式	1	6,704	
		土工	m <sup>3</sup>	1,936,794	2,663	切土、盛土、捨土
		軟弱地盤改良工	m <sup>3</sup>	53,270	173	
		法面工	m <sup>2</sup>	112,673	989	切土法面、盛土法面、法枠工
		擁壁工	式	1	443	重力式擁壁、ブロック積擁壁、U型擁壁、扶壁式擁壁、逆T式擁壁
		函渠工	式	1	2,436	管渠工、函渠工、水路工、等
	橋梁費		式	1	20,994	
		100m以上	m	2,392	12,305	PC橋(8橋)、ME橋(4橋)
		100m未満	m	2,231	8,689	PC橋(18橋)、ME橋(1橋)
	トンネル費		式	1	2,120	
		NATM	m	463	2,120	1本(上り線)
		シールド	m	—	—	
	IC・JCT費		式	—	—	
		IC	箇所	—	—	
		JCT	箇所	—	—	
	舗装費		式	1	3,925	
		車道舗装	m <sup>2</sup>	215,600	3,586	
		歩道舗装	m <sup>2</sup>	70,259	339	
	附帯施設費		式	1	751	
		交通管理施設工	式	1	737	標識工、防護柵工、道路照明工、中央分離帯工、等
		遮音壁	m	2,324	14	
②	用地及び補償費		式	1	16,160	
	用地費		式	1	12,684	
		宅地	m <sup>2</sup>	219,650	11,422	
		田畑	m <sup>2</sup>	74,400	1,116	
		山林・原野	m <sup>2</sup>	97,090	146	
	補償費		式	1	3,476	
③	間接経費		式	1	8,346	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					59,000	

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道53号	岡山北バイパス	4/4	10.5km

## ■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費		式	1	9,476	
	改良費		式	1	576	
		土工	m <sup>3</sup>	196,069	261	切土、盛土、捨土
		軟弱地盤改良工	m <sup>3</sup>	—	—	
		法面工	m <sup>2</sup>	29,878	140	切土法面、盛土法面、法枠工
		擁壁工	式	1	129	重力式擁壁、ブロック積擁壁、U型擁壁、逆T式擁壁
		函渠工	式	1	46	管渠工、函渠工、水路工、等
	橋梁費		式	1	5,332	
		100m以上	m	1,060	4,881	PC橋(4橋)、ME橋(1橋)
		100m未満	m	150	451	PC橋(3橋)
	トンネル費		式	1	2,120	
		NATM	m	463	2,120	1本(上り線)
		シールド	m	—	—	
	IC・JCT費		式	—	—	
		IC	箇所	—	—	
		JCT	箇所	—	—	
	舗装費		式	1	1,303	
		車道舗装	m <sup>2</sup>	68,270	1,210	
		歩道舗装	m <sup>2</sup>	19,205	93	
	附帯施設費		式	1	145	
		交通管理施設工	式	1	145	標識工、防護柵工、道路照明工、中央分離帯工、等
		遮音壁	m	—	—	
②	用地及び補償費		式	1	771	
	用地費		式	1	721	
		宅地	m <sup>2</sup>	4,920	112	
		田畑	m <sup>2</sup>	40,600	609	
		山林・原野	m <sup>2</sup>	—	—	
	補償費		式	1	50	
③	間接経費		式	1	170	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					10,417	

(事業全体)

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道53号	岡山北バイパス	4	10.5km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考(記載例)
維持費	km	10.5	2,550	巡回、清掃、除草等
修繕費	式	1	11,940	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			14,490	

(残事業)

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道53号	岡山北バイパス	4	7.9km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考(記載例)
維持費	km	7.9	1,900	巡回、清掃、除草等
修繕費	式	1	6,800	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			8,700	

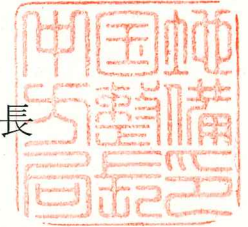
一般国道53号 岡山北バイパス  
〔岡山市への意見照会と回答〕



国中整企画第47号  
国中整港計第23号  
平成23年7月13日

岡山市長 殿

中国地方整備局長



中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る  
対応方針(原案)の作成に係る意見照会について

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領（以下「実施要領」という。）に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、中国地方整備局事業監視委員会（以下「委員会」という。）において、再評価に係る対応方針(原案)について審議しております。

このたび、平成23年8月4日（木）に委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原案)の作成にあたり、平成23年7月26日（火）までに、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼いたします。

※ご意見の送付・問い合わせ先

中国地方整備局 企画部 企画課

課長補佐 浜崎

教習係長 木本

電話：082-221-9231

FAX：082-227-2651



(別紙)

【道路事業】

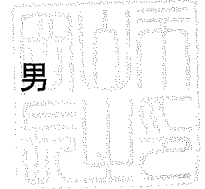
事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
一般国道53号 岡山北バイパス	継続	
一般国道180号 総社・一宮バイパス	継続	

※貴県の意見を踏まえ、「中国地方整備局事業監視委員会」へ諮る  
対応方針(原案)を作成するためのものです。

岡道計第 72号  
平成22年7月21日

中国地方整備局長 様

岡山市長 高谷 茂 男



中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る  
対応方針（原案）の作成に係る意見照会について（回答）

貴職におかれましては、平素より岡山市の土木行政に対するご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、平成23年7月13日付け国中整企画第47号、国中整港計第23号で照会のありました「一般国道53号岡山北バイパス」、「一般国道180号総社・一宮バイパス」の再評価に係る対応方針（原案）案に対する意見について、下記の通り回答します。

記

1 意見 異議ありません。

なお、両路線とも広域的な交流や渋滞緩和を図るための重要な道路であり、引き続き整備の促進をお願いします。

特に、一般国道53号岡山北バイパスにおいては、津高大橋の4車線化について、また、一般国道180号総社・一宮バイパスにおいては、岡山市北区榎津から山陽自動車道接続までの区間について、事業促進による早期供用を要望します。



<問い合わせ先>

岡山市都市整備局道路計画課

次長 小野 正 勝

TEL 086-803-1695

FAX 086-803-1727

